

Quantum®

at Booth #SL8416 in the South Hall

See how the power of Xcellis brings blazing performance to 4K and 6K VFX, animation and editorial workflows.

お問い合わせは bsi@ngc.co.jp まで



映像新聞

平成28年 (2016年) 4月18日 第2236号

株式会社 映像新聞社

112-0006 東京都文京区小日向
1丁目24番8号エゾビル
電話 (03) 3942-2161 (代表)
ファックス (03) 3942-2581
郵便振替 00140-0-65786

昭和42年1月25日 第3種郵便物認可
1部600円、年間購読料26,000円(税別)

©映像新聞社



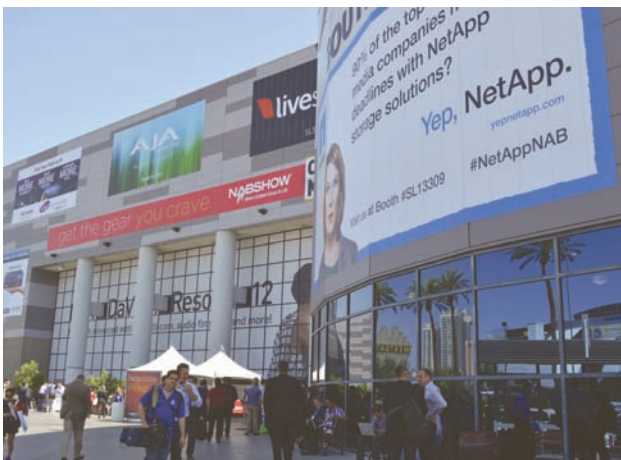
毎週月曜日発行(月4回発行)

NABSHOW™

Where Content Comes to Life™

見どころ=13面 / 各社の出展概要=14-29面

特集



毎年10万人以上が参加するNABショー (NABショー2015会場)

映像新聞
ブースNo. N5234

本号の主な記事

- 【プロダクション】
オムニバス・ジャパン/4Kドーム
用の実写3D映像を制作..... 2
- 【放送・通信】
NTTぷらら/モバイル向けに
多ch配信 3
- スマホのサービス利用動向
ニールセンが調査 5

映像新聞ウェブサイト

<http://www.eizoshimbun.com>

購読のお申し込みはこちら

放送素材伝送

VH-2000 NEW



VH-2000 HEVC対応
HDリアルタイムデコーダ
HEVC(HEVC Main 10 Level 4.1)
H.264/MPEG-2対応
アンシラリデータ重畳



映像配信サービスのモニタリング
VoDサービス、デジタルサイネージの映像出力装置

株式会社 ヴィレッジアイランド
TEL. 03-6409-6206 <http://www.village-island.com>

新たな高速度カメラも登場

「FT-O NE」に加
ア・インタフェース」を
推進している。SDIを
世界標準へと発展させ
る。カナレ電気は75
は12G-SDI、中継車
や長距離リモート伝送
を拡大しそうだ。
〈3面に続く〉

VOIPか12G—SDIか 注視される各社の対応



にぎわうサウスホール
(NABショー2015)

一方、12G-SDIも
実用化が急速に進んでい
る。同軸ケーブルを
ル1本でカメラやスイッ
チャーなど
の機器を接
続できる環
境が実現す
るわけで、
ベースバン
ドによる4
K放送設備
の構築を前
進させるも
のだ。
4Kハイスピー
ドカメラが新
に登場す
る。4Kハイ
スピードカ
メラで先行
する。朋栄
の「FT-O
NE」に加
ア・インタ
フェース」
を推進し
ている。S
DIを世界
標準へと
発展させ
る。カナ
レ電気は
75は12
G-SDI、
中継車や
長距離リ
モート伝
送を拡大
しそうだ。
〈3面に
続く〉

世界最大の放送・通信コンベンション「NABショー2016」(主催「全米放送事業者協会」)が18-21日の4日間(カンファレンスは16-21日)、米国ラスベガス・コンベンションセンターで開催される。今年のNABショー機器展には1700社以上が出展。4K・8KのUHD関連機器がさらなる進化を見せるとともに、放送機器間でUHDの大容量情報をやりとりするためのインタフェース(IE)が大きなテーマになる。HDR(ハイダイナミックレンジ)の動向も焦点になるだろう。

NABショー2016 になっている。

的確な

における焦点の1つは、そこで注目されている設計思想。UHDの機器間IEである。基本的にはSDIの機器間を1対1で送受する片方向接続であるのに対して、IPは回線次第で双方向や1対Nの多重伝送ができる。受信側は自らのIPアドレスに送られてきた信号を受け取ればよい。市場が大きいIPは関連機器の大容量化、低コスト化の進展が「LCV」を採用した早いこともメリットだ。「ネットワーク・メディア

NABショー2016

UHD機器間IEが焦点

ソニーの提案だけに世界的にも注目度は高く、その取り組みを支持し、期待する放送関係者は多い。パナソニックはVOIPのコーデックにint

コンパクト(1Uハーフサイズ)なボディであらゆるシーンをサポート。

MULTI FORMAT CONVERTER
XC 1 SERIES



NTSC・RGB・HD/SD-SDI・DVI-D・COMPONENTなど
広範囲な信号を用途に応じて様々な信号形式に
変換するマルチフォーマットコンバータです。

XC 1 series
XC 1 si
XC 1 so
XC 1 sio

株式会社 デジタルアーツ TEL. 03-3486-9697
<http://www.digitalarts.co.jp>



ライブイベント中継システム

既存のレンズ環境にそのまま適応

4K
HiSpeed (3X)
XtremeSpeed (6X)



K2 Dyno
リプレイシステム



LDX 86 シリーズ
B4 マウントカメラ

さらにその感動を広げます...

XDR - ST 2084 <15 Fストップのダイナミックレンジ>
高色域 - BT.2020
IP入出力 - ST 2022-6

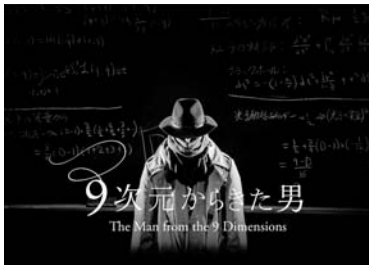
*いずれの機能もオプションにより対応

スチューダー・ジャパン・ブロードキャスト株式会社

映像システム部
システム提案、設計、施工

〒108-0022 東京都港区海岸 3-3-8
03-5730-0780 www.studer.co.jp

オムニバス・ジャパン

4Kドーム用実写3D映像を制作
VFXや技術開発力を活用

「9次元からきた男」 ©Miraikan



作品の一場面。右に浮いているのが「カラビ・ヤウ空間」

オムニバス・ジャパン(東京都港区)は、日本科学未来館の「ドームシアターカイア」で上映する映像『9次元からきた男』(30分)を制作。CG/VFX作成や技術開発を含めた制作力を生かすことで、最新の理論物理学の世界を4K/3D、全周の実写ドームで表現した。

同作品は、物理学の究極の目標である「万物の理論」をテーマに、その最も有力な仮説である「超弦理論」を展開する。約2年間にわたる企画・構想を経て、2015年1月にオムニバス・ジャパンが参加。脚本作りと並行して撮影に必要なCG制作を開始した。6月7月に撮影が行われ、12月に解像度4096×4096、30秒/秒の映像がドームシアターで上映された。素粒子や宇宙の成り立ちを映像化するようになったCGチームは、制作参加直後から約半年間、演出の清水崇監督や監修の大栗博司氏と表現の方法を検討していった。

プロデューサーの徳重岳浩氏は、「まず困難だったのは、全周の実写映像がドームシアターでどのように映り、どう効果的に見えるかということ。イメージを共有するために各工程で工夫を凝らした」と話す。

出して作業するなど考えたが、最終的には円形映像で行った。最初は見づらかったが、試写と編集を重ねることで、円形映像から仕上がりイメージがわかるようになったという。カラーグレーディングも、通常より暗く見えるドームの特性からテスト試写を繰り返した。

CG/VFXも、3Dドームで表現するための仕組みづくりから始めた。レビューは、ヘッドマウントディスプレイ「オキュラスリフト」を利用。同時に、リアルタイムで映像を見られる専用ツールを自社開発し、現場でプレビューした。編集時は、中心部のみを切り、CGが動く速さなど、さまざまな観点から考えることが必要だった。技術開発部との連携により、超弦理論で重要な「カラビ・ヤウ空間」のシミュレーターや、シアターの各座席からの見え方の検証など、多数の制作支援ツールを準備したことも映像の精度と正確に映像化。また、「仮説において正しいとされることも理論に基づいて表現している。」



オキュラスリフトでチェックする清水監督

ドームシアター「オキュラスリフト」を利用。同時に、リアルタイムで映像を見られる専用ツールを自社開発し、現場でプレビューした。編集時は、中心部のみを切り、CGが動く速さなど、さまざまな観点から考えることが必要だった。技術開発部との連携により、超弦理論で重要な「カラビ・ヤウ空間」のシミュレーターや、シアターの各座席からの見え方の検証など、多数の制作支援ツールを準備したことも映像の精度と正確に映像化。また、「仮説において正しいとされることも理論に基づいて表現している。」

一方、素粒子や宇宙が誕生した際に起きた「インフレーション」は、理論物理学が考えている姿に近づくよう、ビジュアル・ディレクターの山本信一氏が作成。山本氏は、「一瞬で膨張するインフレーションを表すために、周りを止めるなど工夫し、ビックバン以前の「無の世界」の表現にも挑戦した」と話す。監修の大栗氏からは「自分の想像を超えるものをつくってくれた」と評価されたという。

上映は、同館の常設展「4月20日から始まる。広報担当者は、「私たちは、難しいと思われるが、科学技術を分かちやすく伝える手法として、デザインやアートを積極的に取り入れており、映像もその一つだ」と話す。可愛らしいアニメのキャラクターにナビゲートされるのでなく、全周の空間で、斬新かつ目のく包まれる体験を楽しめるのも、作品が目指したところだ。

6月には、国際プラネタリウム協会(IPS)がチェコのブルノ市で開催する「フルドームフェスティバル・ブルノ」で上映されることが決まっている。

ビジュアル・グラフィックス

ハイブリッドサーバー発売

クラウドとオンプレを透過管理

同製品はデータの使いやすさを重視して構築した。アマゾンS3とオンプレミスの間に、データ管理ソフトを実装したハイブリッドサーバー「ストライアンスサーバー」を5月に発売。膨大な映像データを、日々の業務からアーカイブ化まで、効率よく管理利用できる製品として、ポストプロダクションに向けて提案する。

同製品はデータの使いやすさを重視して構築した。アマゾンS3とオンプレミスの間に、データ管理ソフトを実装したハイブリッドサーバー「ストライアンスサーバー」を5月に発売。膨大な映像データを、日々の業務からアーカイブ化まで、効率よく管理利用できる製品として、ポストプロダクションに向けて提案する。

価格は、アプライアンスサーバーのハードウェア(235万円、すべて税別)と、サブスクリプションによる従量課金から成る。移動したデータがオンプレミス10TB、クラウドの場合月額15万円から。5月19・20日に、グループ企業の朋栄と同時開催する同社内覧会でも披露する。

新機能は、HTML5版動画プレイヤーおよび「アドビマーケティングクラウド」と連携したOTT事業者向けソリューション、プレミアム動画広告プラットフォーム、お勧めシステムなど、さまざまなビジネスモデルでの収益向上に貢献する。

また、国内で展開するに当たり、販売・導入を支援する協業体制を強化した。PTは、YouTubeに代表される動画プラットフォームや、自社サイトで配信するためのOVP(オンラインビデオプラットフォーム)と比較した際、カスタマイズ性・スケーラビリティにおいて利点があると同時に、システム開発と収益化の手段を強化する必要がある。このためアドビは、カトリナ(システム統合、Jストリーム(配信基盤

また、国内で展開するに当たり、販売・導入を支援する協業体制を強化した。PTは、YouTubeに代表される動画プラットフォームや、自社サイトで配信するためのOVP(オンラインビデオプラットフォーム)と比較した際、カスタマイズ性・スケーラビリティにおいて利点があると同時に、システム開発と収益化の手段を強化する必要がある。このためアドビは、カトリナ(システム統合、Jストリーム(配信基盤

また、国内で展開するに当たり、販売・導入を支援する協業体制を強化した。PTは、YouTubeに代表される動画プラットフォームや、自社サイトで配信するためのOVP(オンラインビデオプラットフォーム)と比較した際、カスタマイズ性・スケーラビリティにおいて利点があると同時に、システム開発と収益化の手段を強化する必要がある。このためアドビは、カトリナ(システム統合、Jストリーム(配信基盤

S6の保守サービスもROCK ON PROにお任せください!!

ROCK ON PRO ASP

・専用サポートダイヤルの設置で迅速に対応 ・MAC、XMONなど周辺機器への対応もカバー、システム全体をサポートします ・故障時のハード先出し対応でダウンタイムを最小に
・セッティングの変更などシステムのブラッシュアップもご相談ください ・システム環境に応じたオーダーメイドのサポートをご提案します

ROCK ON PRO 三 Shibuya 営業時間 10:00-19:00 定休日 土日祝日
〒150-0041 東京都渋谷区神南 1-8-18 クオリア神南フラッグ 1F

TEL : 03-3477-1776

ROCK ON PRO 三 Umeda 営業時間 10:00-19:00 定休日 土日祝日
〒530-0015 大阪府大阪市北区中崎西 2丁目 2-1 東梅田八千代ビル 1F

TEL : 06-6131-3078

加速する Visual Mixing、AVID S6 ソリューション

▲▶ S6 v2.1

Avidのフラッグシップを担うS6、そのパワーがワークフローを加速させる。強化されたゾーン機能で任意のスピーカー・ゾーンを柔軟に呼び出し活用列単位でのノブからフェーダーへのフリップ機能、ロータリー・ノブの感度調整機能やDAWセッション内へのレイアウト自動保存機能など、その進化は大幅なブラッシュアップを受けてさらにDAWとの深いインテグレーションを実現。

音場解析と S6 機能拡張を
スマートに実現する力
Trinnov D-MON

ルームアコースティクスの改善に定評がある「Trinnov」。同社からリリースされた最高精度のモニター補正エンジンを搭載した、S6から直接コントロール可能なモニターコントロールローラー/プロセッサがこのD-MON。その強力なエンジンを利用してダウンミックスやSummingの機能も可能となっている。

ノンリニアの核となる
高速サーバー構築で革新を
GB Labs SPACE

NASベースの高速サーバーとなるGB Labs SPACE。ハンドリングの容易なNASであるにも関わらずSANに匹敵する速度とMediaのストリーミングを可能とするSPACEはクライアントソフト不要、ドライバー不要、相性やメンテナンスといった課題からも解放。

Filebase ワークフロー構築の
鍵を握るキーデバイス
Avid InterPlay / Telestream Vantage

Filebase WorkFlowを加速するInterplayでのAsset Managementと、密接な連携により、バックグラウンドプロセス、トランスコード、マルチスクリーン配信などを行うTelestream Vantage、Work Flow構築のキーデバイス。

モバイル向けに多ch配信

NTTぷらら 2016年度事業を説明

スポーツ、ニュースなど20ch

NTTぷらら(東京都豊島区)以下、ぷらら)は14日、2016年度事業説明会を実施し、6月1日からモバイル端末でも多チャンネルがリアルタイムで視聴できるインターネット配信サービスを開始することや、CATV事業者とのアライアンス推進による新規販売チャンネル開拓など、「ひかりTV」の展開について発表した。

CATV8局との連携も

多チャンネルのインターネット配信サービスは、Wi-FiやLTEを介してスマートフォン(スマホ)やタブレット向けに各種コンテンツを提供する。ひかりTVのテレビ向けプランの契約者は追加料金なしで約20chを視聴可能。モバイル向けプラン契約者は約10chを一部追加料金なしで視聴できる。

ニュース系としてユーロニュース、BBCワールドニュース、CCTV、CNNなど、エンターテインメント系として、スターチャンネル1・2・3などが視聴可能。順次提供チャンネルを拡大する計画だ。

愛媛CATVがサービスを開始。気仙沼ケーブルネットワーク、宇都宮ケーブルテレビ、上野原ブロードバンドコミュニケーションズ、アイ・シー・シー、南九州ケーブルネット、アマミテレビの7社が検討している。

同事業には2つの基本モデルがある。1つは、CATV事業者が、設備投資を抑えつつエリア拡大を図りたい場合で、NTT東西がフレッツ光の卸売りをし、事業者の独自サービスを追加して再販する「光コラボレーション」に「ひかりTV」を組み合せるモデルだ。CATV事業者は、光コラボとひかりTVをセットで販売。顧客はふらと契約を結ぶので、CATV事業者は代理店の役割になる。ぷららは販売手数料や料金回収手数料、サポート費用などを支払う。

ぷららは昨年11月から愛媛CATVとの協業によるサービスを開始したが、これは光コラボとひかりTVのモデルである。もう1つは、光のインフラを自ら構築しているCATV事業者に対してCATV事業者が、設備投資を抑えつつエリア拡大を図りたい場合で、NTT東西がフレッツ光の卸売りをし、事業者の独自サービスを追加して再販する「光コラボレーション」に「ひかりTV」を組み合せるモデルだ。CATV事業者は、光コラボとひかりTVをセットで販売。顧客はふらと契約を結ぶので、CATV事業者は代理店の役割になる。ぷららは販売手数料や料金回収手数料、サポート費用などを支払う。

HDRの動向にも注目

4K・8Kに欠かせぬ存在

気になるHLGの海外評価

↑面から続く↓

HDRについては、4K・8K放送の標準化作業において、HLG(Hybrid Log-Gamma)かPQ(Perceptual Quantization Curve)か、または両方式の併記か、議論が進んでいる。

ミックスを幅広く表現するもので、明るい部分と暗い部分の表現能力を高め、よりリアルな映像を実現できる技術。既に4K・8Kに欠かせない存在になっている。

HLGは放送利用を前提としたHDR技術で、通る信号を10bitに規定。情報量のアサインの仕方を工夫することで、明るさや暗さを表現する。基準の白と黒の間で信号を通し、映像を加工して視聴者に届け、受信機がそれを表現するという、これまでの放送と同様にシンプルな技術だ。

一方の「PQ」は、ドルビーがシネマカメラでの撮影からマスター制作、劇場、ブルーレイディスクとの、各種の放送設備をドルビー対応にしないとは、HLGはテレビ向けに提案されたHDRなので全般的に明るさの表現に

同方式はNHKとBBCが共同で提唱しており、従来の方式のSDRからHDRへのシー

劣化の問題を解決するため提案している「ドルビービジョン」のガンマカーブ部分の技術で、人間の目に近い輝度レンジを確保するための量子化ステップのカーブを指す。

マスター制作の段階から明るさの絶対値を満たす処理をし、それをメタデータで管理するというのがドルビーの考えだ。ただしドルビーの理想をどの番組はHLGが向いているとの判断をしている技術者もいる。

HLGはテレビ向けに提案されたHDRなので全般的に明るさの表現に

PQが放送に展開する可能性も

Rなので全般的に明るさの表現に

HLGはテレビ向けに提案されたHDRなので全般的に明るさの表現に

HLGはテレビ向けに提案されたHDRなので全般的に明るさの表現に

無限の広がり

単一の領域で50ペタバイトを実現するアイシロンのさらなる進化クラウドとの連携を実現するEMC ISILON CloudPoolsや注目を集めるEDIUS-ISILONなど 今年も注目の話題多数!

NABSHOW
Where Content Comes to Life

- 2016年2月発売開始の新製品/新機能をご紹介!
- メディアワークフローのデモ実演!
- EDIUS-ISILON 好発進の理由とは?!

大好評の日本語セッション、今年も開催!

日本語セッション開催予定(現地時間)

4/18(月) 15:00~
4/19(火) 15:00~
4/20(水) 15:00~

詳しくは、EMC ISILON ブース#SL9605で



3位以下の苦悩

(次世代メディア研究所 鈴木祐司)

現にその後の1・3月は前期比ではほぼ同じか、むしろ2・3月は下回ってしまった。まだ力強い上昇気流に乗っているとはいえない。今期改編後の健闘に期待したい。

◆フジテレビの視聴率
同局は04・10年度に、7年連続三冠王に輝いたが、その途中で、既に長期低落傾向が始まっていた。首位であるため改善し難い。「首位のジレンマ」にあったという。

11年度、日テレに三冠を奪われ、大胆なテコ入れが可能になった。だが、逆に12年度以降のほうが視聴率の下落が顕著になった。攻めの姿勢が裏目

は明白だ。まず11年度までは、HUT（総世帯視聴率）や他局の季節変動と同様、春夏が低く秋冬に上昇するパターンだった。だが12年度以降、下半期の盛り上がりが消えた。右肩下がりが続いているため、後半の上昇分が相殺されたように見える。

その結果、12年度以降ほぼすべての月が前年同月比でマイナスとなっている。12年度はすべての月、13年度は6月と12月を除くすべて、14年度では9月と1月を除くすべて、そして15年度もすべての月がダメだった。

13年度以降、広告収入が視聴率で2けたを狙うまで成長した。14年以降は金曜8時のドラマも元氣だ。『YOUは何しに日本へ?』など、素人に同行して新たな発見を築くしむ緩い番組も評価を得るようになっていた。

この結果3時間帯の数字は、11年度2・7%、6・0%、5・6%まで落ちていたが、13年度までに0・3%、0・3%、1・2%増を達成する急回復を見せた。ところが、15年度までの2年でGPP帯は0・4%の減少に転じる。HUTの減少が顕著になるなか、最大公約数を狙わない独自路線に

11年度以降の月別G帯
視聴率を検証しても、フ

11年度以降の月別G帯
視聴率を検証しても、フ

レミア12で日本代表戦を4試合中継したのが大きい。また、平均視聴率18・5%の『下町ロケット』が11・12月に20%台を3回出している。つまり、通常番組が支えたわけではないのである。

5年度および前年度と15年度の数字を比べてみよう。全日は10年で3・1^ポ、前期比で0・5^ポ減少した。G帯は5・4^ポと0・9^ポ減、P帯は5・6^ポと1^ポの減少だ。

も前期を下回り始めている。視聴率低下↓広告収入低下↓番組制作力低下↓視聴率低下の負のスパイラルが起こり始めている可能性がある。何らかのきっかけをとらえ、反攻勢を期待したい。

13年度までは上半期より下半期が明らかに数字は高かったが、14年度は秋冬の活況が消えている。

HUTでも似た状況があるが、日テレやテレ朝には見られない。かつて

(ビデオリサーチ・関東600世帯の視聴率)

すれの時間
◆テレビ東京の社職率
最も、10年で
3割以上パイと
握った格好
である。この
1年でも、全
時間帯が下落
率1割前後と
なっている。

11年度以降
の月別G帯視
聴率を検証し
ても、深刻さ
新たな成功例も出ていた。

最後、長年「番外地」
と揶揄（やゆ）されてき
た同局は、3時間帯とも
06・07年度をピークに10・
11年度が底辺となった。
ところが12・13年度は、
見事に反転上昇に転じた。

この間の特長的な改編
は、「ファミリ―層狙い」
「テレビ東京らしさ」「他
局との差別化」だった。

に夜の時間が長くな
とテレビ視聴時間が増え
る傾向にあった。しかし、
今や録画再生や動画視聴
は増えても、リアルタイ
ム視聴の選択は見込めな
いかもしれない。そのの
しわ寄せが最もきている
のがフジやテレビ東のよう
だ。3位以下局は新たな
戦略を考案し、反転攻勢
をかける必要がありそう
だ。

INGS-JBS PLUS INC.

ARIB STD-B66

4K静止画
×4枚

4Kカラーバー & 静止画を
3G-SDI×4本で出力

3G対応シグナルジェネレーター
SG-70V 3G対応 Lv-A&B **4K**
+ 4Kオプション **SG-70V-01**

希望小売価格 500,000 円 (税別)

- 4K カラーバー
- 2SI SQD
- 4K静止画 4枚登録
- オリジナル テストパターン

4K SG

4K → **3G HD**

4K信号を3G/HD-SDIに
ダウンコンバート

UHDダウンコンバーター

UHC-70 3G対応 Lv-A&B **4K**

希望小売価格 450,000 円 (税別)

- D/C 3GorHD
- カラコ
- 色域 変換
- 2SI SQD
- 3GLevel A⇔B変換
- ※ Eスルー

※2SI入力、3G-SDI出力時に有効

OPTION
1U型マルチコントロールパネル
カラコ制御 リモコン **MCP-01F** 希望小売価格 300,000 円 (税別)
4×1バラレルリモートコントローラ
プリセットボタン 切替えリモコン **PRC-0401** 希望小売価格 100,000 円 (税別)

ビデオトロン株式会社 <http://www.videotron.co.jp> e-mail:sales@videotron.co.jp
本社営業部 TEL:042-666-6311 FAX:042-666-6319 / 大阪営業所 TEL:06-6355-6257 FAX:06-6355-6256

CATVと共同制作の情報番組 「JCC三人娘が行く！」 ケーブルキャストが提供開始

ジャパンケーブルキャスト(JCC)は、CATV局専用総合チャンネル「チャンネル700」で放送中の番組「JCC 三人娘が行く！」を、

要望する全国CATV局に対して、4月放送開始分から提供を開始した。『JCC 三人娘が行く!』は、JCCと全国各地のCATV局との共同制作により、地域密着メディアならではの情報を全国に発信する番組。4月で4周年を迎え、延べ37のCATV局の協力

埼玉の情報が満載 毎週土曜日に生番組

『JCC 三人娘が行く!』は、CATV局がえ、旅人目線に伝える内容。月1本制作(13分)の社員レポート13分、放送期間は提供月から3〜6カ月以内(放送時募集している)。

同番組は、これまで「チャンネル700」配信局および制作協力局に限定し提供していたが、より多くの視聴者に届けるよう、全国CATV番組配信システム「AJCCMS」を通じて全国のCATV局に提供している。



「えひめ国体」チャンネルの発表

国体関連チャンネル 愛媛CATVが放送開始

愛媛CATV(愛媛県松山市)は1日、地デジ門色を高めるため『えひめ国体』チャンネルのしめ&スポーツチャネル』を改称し、2017年開催の愛媛国体に

BS左旋に対応 光受信機を発売

マスプロ電工は、CATV、BS(右旋・左旋)、CS(右旋)を受信可能な、屋外(内)用光受信機(V-ONU)「ORD7BCTR3」を発売した。CATV帯域は70〜770MHz、BS、CS帯域は1000〜2681MHzの広帯域で伝

スマホのサービス利用動向

ニールセン(東京都港区)は、スマートフォン(スマホ)視聴率情報「ニールセン・モバイル・ネットビュー」の2016年2月度データを基に、18〜34歳のスマホの利用状況を分析し、その結果を発表した。

同年代におけるスマホからのインターネット利用者は2月時点で2117万人。これはこの年代の人口の86%が利用している規模となる。利用時間では1日平均で約2時間だった。

ニールセンが18〜34歳層を調査

異なるSNSの利用状況 各自の趣味嗜好で選択

利用している。一方、「@」は男性の割合が高い。『「えひめ国体」チャンネル』の発表

映像にエクスタシーを

リアルタイム3Dキャラクタージェネレーター



KarismaCG

才能の限界を突破し、
クリエイティビティの見せ場を創造します。

光通信技術展

大容量データの伝送を実現

「第16回光通信技術展」(主催＝リード エクシビション ジャパン)が4月6―8日の3日間、東京・有明の東京ビッグサイトで開催された。同時開催の関連展示会と合わせて3日間で5万9740人(速報値)が来場し、昨年を約2000人上回った。出展社数は、併催展示会との合計で1350社だった。4K映像関連の大容量データの伝送をにらんだ展示も見られ、4Kやそれ以上を見据えた光伝送が活発になってきた。

4K／60pに対応
光変換アダプター出展

七星科学研究所

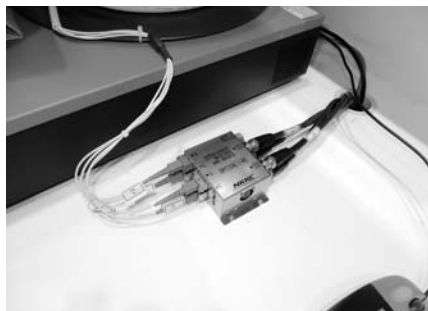
七星科学研究所は、4K光ファイバー伝送のための3G—SDI—光アダプター「VP—4000シリーズ」を出展した。7星科学開発センター

(埼玉県狭山市)が開発・製品化。送信用、受信用一対で使用する。最大4090×2160画素の60p映像を送送する。光ファイバーは、最大16ギ映像用途に適合させた。1000シリーズを開発・販売してきた。最大40ギの伝送が可能で、今回、インタフェースを4本の3G—SDIとし、

ト^メまで延長可能。

同社は、これまでもギガビット・イーサネット（100Base-T）を光変換するアダプター「LA-

同社は、光化により敷設が容易になることで、通常のコンテンツ制作のほか、監視用途などへの4K応用も加速すると見ている。同軸ケーブルの延長距離は1000メートルまでそれ以上の距離



施設でも利用が進む」と
みている。

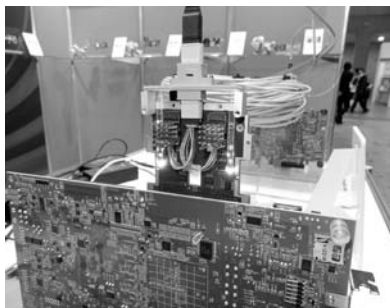
サムテックジャパン
(横浜市港北区)は、高
速光伝送モジュール「フ
アイヤーフライ・マイク
ロフライオーバー・シス

サムテックジャパン
高速光伝送モジュール
1chで14Gbpsの容量

送速度は14 Gbpsだが、28 Gbps品の開発がすすんでいる。1モジュールで12chを収容し、最本で合計168 Gbpsの容量を持つ。

デモでは、本機を搭載した来クロクワイールド・テクノロジ製のメザニン（拡張）カードで、2枚のFPGAボードを100μmの光ファイバーで結んでいた。

め、30層であるが、信号のみであれば、より長距離の伝送が可能となっている。



拡張ボード上に2個配置されたサムテック
ジャパンの超小型光伝送モジュール

「テム」を出展した。これは、基板内および基板間での高速伝送のための光・電気変換ジュール。現在、1ch当たりの伝

り」のため、基板端にFPGAなどLSIの近傍に取り付けられるので、FPGAとモジュール間の信号劣化がない。従来は基板端までの駆動回路などが必要だったが、同機により直結可能となり、人気を博している」(同社担当)という。

独研究機構の技術採用 赤外線LEDで通信

三技協

三技協(横浜市都筑区) 応じて速度を自動調整で
は、独フラインフオーフ きる。

るかに信号の
傍受が難しく
なっている。こ
の通信機を
オーバーホー
ルする。

る。同機は、無線を使ったエントランス回線よりもはるかに信号の傍受が難しく、秘匿性も高いといえる。

本多通信工業（東京都品川区）は、プラスチック光ファイバー（POF）で長距離伝送を実現する「高速POF光伝送モジュール」と「高速POFアクティブオプティカルケーブル」を参考出展した。



POFでの長距離伝送を実現

(60 pと30 p)とクロック信号を伝送していた。デモに用いたケーブルは給電用のワイヤがあるた

(ハインリッヒ・ヘルツ部門)の技術を用いた高速度光通信装置を開発した。赤外線LEDにより、100μmの距離で500Mbps、200μmならば250Mbpsの速度を得る。適応型レート調整機能を持ち、接続状態に

どの無線通信設備の建設・設置に経験の深い三枝協会は、この通信装置を中継回線用に活用できるようにしている。例えば、街中に設置される無線LANアクセスポイント装置やLTE小型基地局を基幹回線と結ぶといった使い

方を想定している。街中での利用では、電源の確保はできても、情報用の線を接続するのは難しいため、電線工事を不要とする空間光通信は魅力的


 フラウシ
 独が開
 というる。
 三枝協は、
 これら基地局
 での利用に加えて、停車
 中の列車への情報提供
 エレベーターのカゴとの
 高速通信など、種々の応
 用を企画している。同製
 品は今秋発売の予定。



RAVENNA

AES67 *now!*

<http://www.dspj.co.jp>

ASIO/Core Audio対応

ネットワーク・オーディオ・インターフェース















ディーエスピー・ジャパン 株式会社

〒153-0061 東京都目黒区中目黒4-8-5 藤井ビル3F

Tel. 03-5723-8181 Fax. 03-3794-5283

●デモ・資料請求のお問い合わせ info@dspj.co.jp

D S P J A P A N

スタジオ施工はお任せください

～プロが創造する匠の空間～

- ポストプロダクション (MA、EDIT)
- 各種ミュージックスタジオ施工

クレイジーTV様

映像スタジオ施工 MA室 ブース 各種 編集室 注文制作家具

～映像・音響専門

SINCE 1979～

一級建築士事務所

高橋建設株式会社

本社 〒216-0032 神奈川県川崎市宮前区神木1-7-8

TEL044-853-0547 FAX044-852-1588

(社)日本ポストプロダクション協会会員 / (社)日本音楽スタジオ協会会員
(社)日本音響学会会員

デジタル映像環境
に対応、直営シス
テムに依る徹底した
コストダウン

映像・音響・防音
プランニング・施工

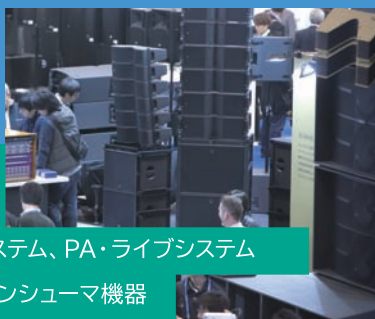
http://www.takahashi-kensetsu.co.jp info@takahashi-kensetsu.co.jp

WHAT WILL YOU DO NEXT?

新たなメディアの可能性を世界に伝えよう。

プロオーディオ

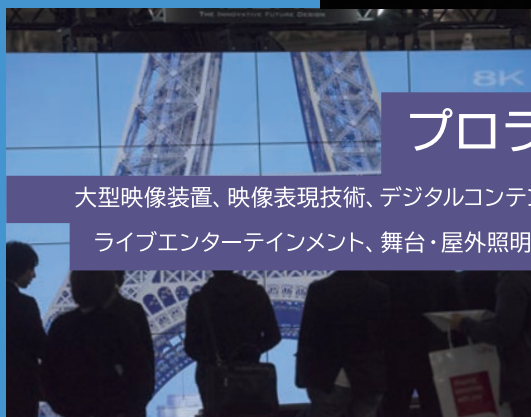
オーディオ機器、MA・スタジオ用システム、PA・ライブシステム
ラジオ放送用システム、ハイエンドコンシューマ機器



映像表現

プロライティング

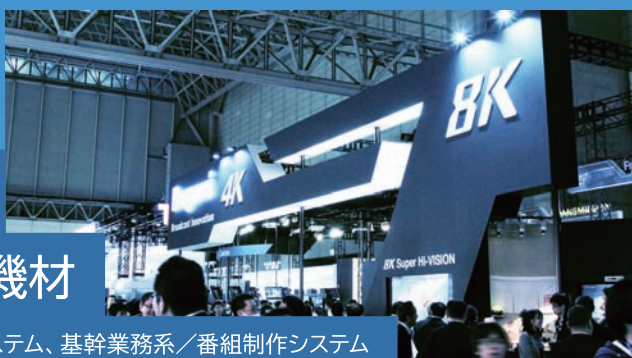
大型映像装置、映像表現技術、デジタルコンテンツ、ライブビューイング
ライブエンターテインメント、舞台・屋外照明機器、スタジオ照明機器



映像制作

放送関連機材

放送機器トータルシステム、基幹業務系／番組制作システム
中継システム／放送システム、各種放送関連機器等、プロダクション関連
各種特機・周辺製品、ポストプロダクション関連、出版・パブリシティ



ICT/クロスメディア

クラウド、動画配信、モバイルネットワーク、放送サービス
広告・マーケティング、視聴デバイス、動画制作、デジタルシネマ
デジタルサイネージ、他産業向け4K・8K技術



Broadmedia & Entertainment



Inter BEE 2016

11.16水 ≫ 18金 幕張メッセ

主催: JEITA 一般社団法人電子情報技術産業協会

放送、映像、音響、照明、 メディアビジネスの イノベーションが集積

Inter BEEは、歴史と実績に裏付けされた、日本随一の音と映像と通信のプロフェッショナル展として、最新のイノベーションが一堂に会し、ビジネストレードおよび情報交流の場として活用されています。

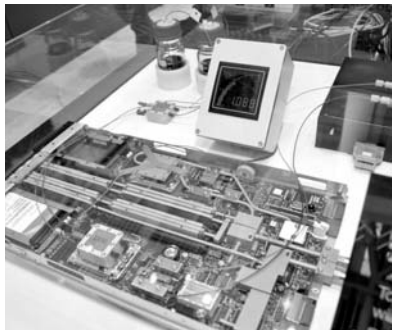
出展申込受付中!!

一次申込締切 **5月31日(火)**

運営・お問い合わせ: 一般社団法人日本エレクトロニクスショー協会 (JESA)
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-1-3 大手センタービル5階
電話: (03) 6212-5231 FAX: (03) 6212-5225 E-mail: contact2016@inter-bee.com

www.inter-bee.com





IBMは「電子血液」を研究している

3月に開催された「CeBIT2016」(主催ドイツメッセ)には、欧州のIT関連研究が集まり、これらを観察する格好の機会となる。また、EU、国家そして地方自治体の支援を得た研究も数多く出展され、現地の何を重要視しているかが見てとれる。IoTは産業上重要な項目であるが、研究面ではその先にある「分析・解析」といった知的処理が重要視されていると感じられた。半導体や素材の基礎的な研究も見られ、次の世代のビジネスを創造する長期的な取り組みがなされていた。

(杉沼浩司)

★場所移動

CeBITでのR&D展示には、長らくホール9が使われてきた。ここ数年、ホール9は「公共事業体(パブリック・セクター)」と「研究(リサーチ&イノベーション)」の両方に使われるようになり、研究関連展示はやや縮小していた。

★電子血液で高速化

ホール2に展示するIBMは、毎年必ず研究成果を出展している。なか

CeBIT2016 レポート ③

次世代のビジネスを創造へ
半導体や素材の基礎研究も

るが、放熱が問題とされている。最上面や最下面のチップはパッケージからの放熱が可能だが、間のチップからの放熱は容易ではない。

IBMはチップ間を結ぶシリコン貫通電極を使って放熱させる技術を開発している。これに前述の液浸を効率よく組み合わせることで、多層構造のどの層からも十分な放熱を可能とする。これまで熱処理がでず速度を上げられなかった回路構成でも、高速化できそう。



独カールスルーエ工科大学は腕の動きを用いたUI技術を開発



独トポセンスは超音波による3Dセンサーを出展

液体を使った冷却は、メインフレームで行われたが、これはパッケージから伝導された熱を液体で冷却した。スーパーコンピュータでは、パッケージを液体に浸す冷却法が取られたこともある。

ユーリッヒ研究所のブルーノ・ミツチエル博士は「エネルギー輸送で腐食などは起こさないように考えられている。現在基礎的段階で、2030年までの実用化を目指す」

欧州の天体観測機関が建設する電波天文台「スクエア・キロメートル・アレイ(SKA)」の情報処理部分に使われることが決まっている。

★超音波3Dセンサー
ドイツ南部、バイエルン州の州都にして工業技術の中心地であるミュンヘンに本社を持つトポセンス(Toposens)社は、超音波式の3Dセンサーを出展した。画像式の3Dセンサーのように、目標の空間内での位置を出力する。

今後、腕時計型の活動量計が一般化する。このような入力手段も意味を持つと見られる。また、指で直接触れない状況での入力にも使えることから、産業界での応用も期待できる。

CeBITは、B2Bへのかじを切り終え、商談の場となった。展示も対象を絞り、密度が上がっている。4月14日時点来場者数の発表はないが、ITの中心展覧会であることには変わりない。来年は3月20-24日に開催される。

R&D 知的処理を重要視

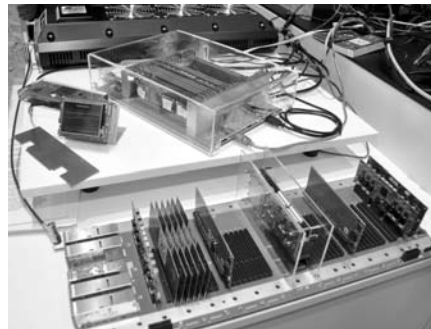
今回の液浸型は、パッケージ内に液体(電子血液)を流し、ここからエネルギーを取り出す点が新しい。

液体でエネルギー輸送をする部分は、EUの研究支援(FP7)を受けており、スイス連邦工科大学チューリッヒ校などと共同で進められている。研究を主導するIBMチ

腕時計型デバイスにはジャイロ・加速度計が収められ、上下左右回転といった動きを検出する。指で直接画面を指すほどの速度は出ないが、大きく無駄な動きを身体(腕)に強いることなく、入力できる様子が示された。

従来、3Dの位置を見るには2台以上のカメラによる立体視を使うか、光の粒子(フォトン)の飛行時間を測定するToFセンサーが使われた。これらよりかなり廉価にセンサーを構成できる可能性がある。

同社は用途として、位置検出や物体識別、ナビゲーションなどを挙げており、光学式のセンサーと変わらぬ利用が可能であることを示している。



IBMのマイクロサーバー

★名刺2枚大のサーバー
同じくIBMチューリッヒ研究所の「マイクロサーバー」プロジェクトは、750平方センチ(B4版より二回り小さい)程度の現行のサーバーを、近くで演算するというIoT時代の要求に適合する」と述べている。

★UIは腕で
ホール6では、ドイツの工科系の名門カールスルーエ工科大学から興味深いUI(ユーザーインターフェース)装置が出展された。腕の動きにより、マウスに代わってカーソル移動とクリックができるものだ。

術の中心地であるミュンヘンに本社を持つトポセンス(Toposens)社は、超音波式の3Dセンサーを出展した。画像式の3Dセンサーのように、目標の空間内での位置を出力する。

超音波センサーは自動車の後退監視などにも使われるが、対象物の存在と距離は分かっても、位置を知ることはできなかった。トポセンスのセンサーはこの問題を解決しているが、詳しい技術は明らかにされていない。

デモでは、センサーの前にかざした手のひらを動かすと、画面上に動きの軌跡が示された。



～ 安心の国内製造・国内サポート ～

高性能デスクトップ仕様をノート型に!?

4K映像編集対応

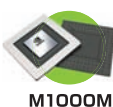
モバイルワークステーション

NVIDIA® Quadro® 搭載!!

MousePro-NB995Z1-WS-HGH 234,800円

GPUが高負荷エフェクト処理をサポート!!

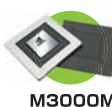
- Windows 10 Pro 64ビット
- インテル® Core™ i7-6700K プロセッサー (4コア/ 4.00GHz/ TB時最大4.20GHz/ HT対応)
- 16GB DDR4 メモリ
- 480GB SSD(240GB×2/ RAID-0/ インテル® 535)
- NVIDIA® Quadro® M1000M(2GB ×メモリ)
- 15.6型フルHD対応 ノングレア(1920×1080)
- IEEE802.11b/g/n 対応 無線LAN
- USB3.1 Type-Cポート×1(10Gbps対応)



MousePro-NB995Z3-WS-HGH 299,800円

4K 3画面の外部ディスプレイ出力に対応!!

- Windows 10 Pro 64ビット
- インテル® Core™ i7-6700K プロセッサー (4コア/ 4.00GHz/ TB時最大4.20GHz/ HT対応)
- 32GB DDR4 メモリ
- 480GB SSD(240GB×2/ RAID-0/ インテル® 535)
- NVIDIA® Quadro® M3000M(6GB ×メモリ)
- 15.6型フルHD対応 ノングレア(1920×1080)
- IEEE802.11b/g/n 対応 無線LAN
- USB3.1 Type-Cポート×1(10Gbps対応)

64GB
DDR4メモリ
選択可能NVMe-SSD
RAID-0
選択可能

株式会社マウスコンピューター

〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町15
神田TKMビル2F

MousePro 事例

ご購入・カスタマイズのご相談はこちらまで

法人のお客様

03-6739-3808

月～金 9時～18時 土日祝 10時～20時

新時代の 大型映像ビジネス

95



(左から) 住舎、横山、大倉、竹下の各氏

三菱電機 国内外で活躍

中国製の大型LEDディスプレイが日本国内の大型映像市場を席巻するなかにあつて、三菱電機の大型映像のブランド名である「オーロラビジョン」は、自発光方式大型映像システムの代名詞的存在となっている。ソニーの「ジャンボトロン」やパナソニックの「アストロビジョン」は、既にその製品そのものが生産終了となつて久しいが、三菱電機は長崎製作所を中心とした大型映像の国内生産体制を敷いており、「オーロラビジョン」だけは36年間、大型映像の王者の地位を堅持している。(川田宏之)

これらは、既設のマリンウイングビジョン(オーロラビジョン/縦0・96m×横295・6m)を含む複数の大型映像装置とシームレスに同期連動し、観客の声援音量に

プロ7球場に導入 三菱電機は、千葉ロッテマリーンズの本拠地で球場全体を盛り上げていく。「QVCマリンフィールド」(千葉県美浜区)のマリンビジョンのメインスクリーンは、国内の屋外球場で最大サイズとなる縦10・8m×横28・8m(1201型)に更新(既設置面積比約3倍)したのをはじめ、外野スタンドサブスクリーンとして縦5・76m×横20・16m(825型)の2面(レフト側・ライト側)を新設。さらにバックネット裏サブスクリーン(2階スタンド席)の2面を更新した。

戦から全体運用が開始され、連動した多彩な演出で球場全体を多彩に演出する。増設した5面と既設のマリンウイングビジョンは、1つのコントロールシステムに集約。イベントや用途に合わせた操作画面のカスタマイズにより、オペレーターの操作負担軽減と機器の省スペース化を実現した。

経験と実績で他社をリード 街頭ビジョン市場拡大に期待

ヨも発展してきた。この確かな実績が評価されていると思う」と語る。同第三課担当課長の横山知沙氏は「近年プロ野球の球場は、8m×12mの高精細クラスのLEDが主力となっている。年々の高画質化に加え、

パ・リーグの球場を中心に多画面化も進んでいる。さらに、地方の球場も大型映像を設置するケースが増え、球場関連の市場は拡大している」と話す。技術的に、オーロラビ

サッカー場では、2002年W杯サッカー日韓大会の決勝と準決勝を開催したワールドクラスの日産スタジアムと埼玉スジアム2002が、三菱電機製のオーロラビジョンを導入している。また、JRA(日本中央競馬会)の競馬場タービジオン10カ所のうち、東京競馬場など半数が三菱

型大型映像は、当社の最大の得意とするところ。例えば、ボートレース場は対岸に大型映像を設置することが多く、水場での工事など特殊な技術を要することになる。この点でも工事と一体となった当社の技術は市場から高い評価を受けている。経験と実績で他社をリードしている」と語

型大型映像は、当社の最大の得意とするところ。例えば、ボートレース場は対岸に大型映像を設置することが多く、水場での工事など特殊な技術を要することになる。この点でも工事と一体となった当社の技術は市場から高い評価を受けている。経験と実績で他社をリードしている」と語



「QVCマリンフィールド」マリンビジョンのメインスクリーン

オーロラビジョンで事業展開

電機製である。地方競馬で最大の売り上げを誇る大井競馬場でも、オーロラビジョンを導入している。大倉氏は「スタジアムや公営競技場などの屋外

総幅延長100m超。4K対応ビデオスクリーンとしては世界最大の商業施設用大型表示装置で、面積はシングルテニスコートの12面分に相当する。社会システム海外事業部社会システム海外第三部第一課の竹下潤氏は「マリオートマーキスホテルのダイヤモンドビジョンは、タイムズスクエ

のメイダン競馬場のオーロラビジョンは、2010年の設置当時、世界最大の大型映像としてギネス記録を持っていた。このように当社の大型映像は世界各国で活躍している」と説明する。

1面という台数は、大型映像メーカーの中でもトップの数字だと思う。当社は特に屋外の大型映像のなかで健闘しているのが三菱電機なのである。三菱電機製の屋外街頭ビジョンと言えば、何となく国内で初めてフルHD対応の大型映像にリニューアルした「ア



NYタイムズスクエア・マリオートマーキスホテルのダイヤモンドビジョン

が、ここへきて急激に実績を高めているのが屋外街頭大型ビジョン。新宿駅東口の顔として親しまれている。このアルタビジョン効果もあってか、ロフト渋谷店、有楽町ビックカメラ、そして4月1日から池袋バルコでも放映を開始するなど、大型商業施

に実績を伸ばしてきたが、ここへきて急激に実績を高めているのが屋外街頭大型ビジョン。新宿駅東口の顔として親しまれている。このアルタビジョン効果もあってか、ロフト渋谷店、有楽町ビックカメラ、そして4月1日から池袋バルコでも放映を開始するなど、大型商業施

4K編集 の次世代基準



Comstation X series
株式会社 コムコ-ス

4Kノンリニア編集機

検索

http://comstation.jp 製品価格:50万円~

日本ケーブルラボ 4Kスマート編集システムの開発に協力しています

JR東海エージェンシーが運営 東京駅八重洲口のサイネージ 東芝製70型を34面設置

ジェイアール東海エージェンシー(JTA)が運営するJR東京駅八重洲口のデジタルサイネージ「J・ADビジョンCentral」では、東芝製70型液晶ディスプレイ「TD-Z70E」が連続面で稼働している。昨年3月までは65型プラズマディスプレイ(パナソニック製)を設置していたが、「広告効果をより高める」ことを目的に刷新。新たに10面のデジタルサイネージを追加し、既存の24面と合わせて計34面に増設した。



東京駅八重洲口の「J・ADビジョンCentral」

同サイネージは「外光が差し込む設置場所」「早朝6時～深夜0時の及ぶ長時間稼働」という条件下において、常に明るい表示と安定性を両立している。JR東日本ではなくJR東海系のJTAが広告の販売管理をしている。その一角に設置されている連続多面型の「J・

立てている。ADビジョンCentralは、通行人の注目度も高く、話題性のある広告を展開できることから、さまざまな企業から広告放映の申し込みが絶えないという。なお、東芝グループでデジタルサイネージ事業を展開してきた東芝ライフスタイルは中国企業に買収されることが決まっているが、同事業に関しては親会社の東芝に移管して「2020年へ向けてさらに事業を強化する方向」(東芝関係者)としている。

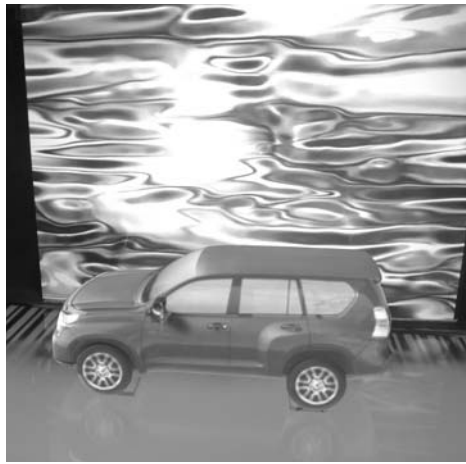


大型ビジョン(三菱電機製)と新イルミネーション



点灯式に参加した斎藤工(左)と剛力彩芽(右)

新イルミネーション「J・ADビジョン」が30周年記念イベントとして、大井競馬場(東京都品川区)で、昨年3年ぶりに全面リニューアルしたイルミネーション「J・ADビジョン」の点灯式を開催した。2人は、現在関東地区を中心にオンエア中のテレビCM二人の開幕編について、「監督からは2年目のカップルの気持ちの内面から出すために、撮影を止めて手を取って5分間見つめ合うという提案があった。その時間が映像に現れているCMになったと思う」(斎藤)、「最初はドキドキしたが、不思議と緊張もほぐれて2年目ならではのCMになった」(剛力)とCM撮影の裏側を語った。



「プロジェクションマッピングテーブル」

「プロジェクションマッピングテーブル」は、3Dプリンターで出力した対象物などに対して、全周からのマッピングを実現することにより、物体を映像で包み込む先進的な表現が可能なディスプレイ装置。自動車や家電などの製品開発におけるデザインシミュレーションや「デジタルものづくり革命」を推進するシステムとして期待されている。製造業向けのデザインレビュー、展示会やショー

今年ナイター競馬の開催30周年を迎えた大井競馬場(東京都品川区)運営「特別区競馬組合」では、昨年3年ぶりに全面リニューアルしたイルミ

大井競馬場 新イルミネーション ナイター競馬を演出

「J・ADビジョン」が30周年記念イベントとして、大井競馬場(東京都品川区)運営「特別区競馬組合」で、昨年3年ぶりに全面リニューアルしたイルミ

「マッピングテーブル」は、3Dプリンターで出力した対象物などに対して、全周からのマッピングを実現することにより、物体を映像で包み込む先進的な表現が可能なディスプレイ装置。自動車や家電などの製品開発におけるデザインシミュレーションや「デジタルものづくり革命」を推進するシステムとして期待されている。製造業向けのデザインレビュー、展示会やショー

「マッピングテーブル」は、3Dプリンターで出力した対象物などに対して、全周からのマッピングを実現することにより、物体を映像で包み込む先進的な表現が可能なディスプレイ装置。自動車や家電などの製品開発におけるデザインシミュレーションや「デジタルものづくり革命」を推進するシステムとして期待されている。製造業向けのデザインレビュー、展示会やショー

「マッピングテーブル」は、3Dプリンターで出力した対象物などに対して、全周からのマッピングを実現することにより、物体を映像で包み込む先進的な表現が可能なディスプレイ装置。自動車や家電などの製品開発におけるデザインシミュレーションや「デジタルものづくり革命」を推進するシステムとして期待されている。製造業向けのデザインレビュー、展示会やショー

「マッピングテーブル」は、3Dプリンターで出力した対象物などに対して、全周からのマッピングを実現することにより、物体を映像で包み込む先進的な表現が可能なディスプレイ装置。自動車や家電などの製品開発におけるデザインシミュレーションや「デジタルものづくり革命」を推進するシステムとして期待されている。製造業向けのデザインレビュー、展示会やショー

「マッピングテーブル」発売 先進的な映像表現を実現

「マッピングテーブル」は、3Dプリンターで出力した対象物などに対して、全周からのマッピングを実現することにより、物体を映像で包み込む先進的な表現が可能なディスプレイ装置。自動車や家電などの製品開発におけるデザインシミュレーションや「デジタルものづくり革命」を推進するシステムとして期待されている。製造業向けのデザインレビュー、展示会やショー

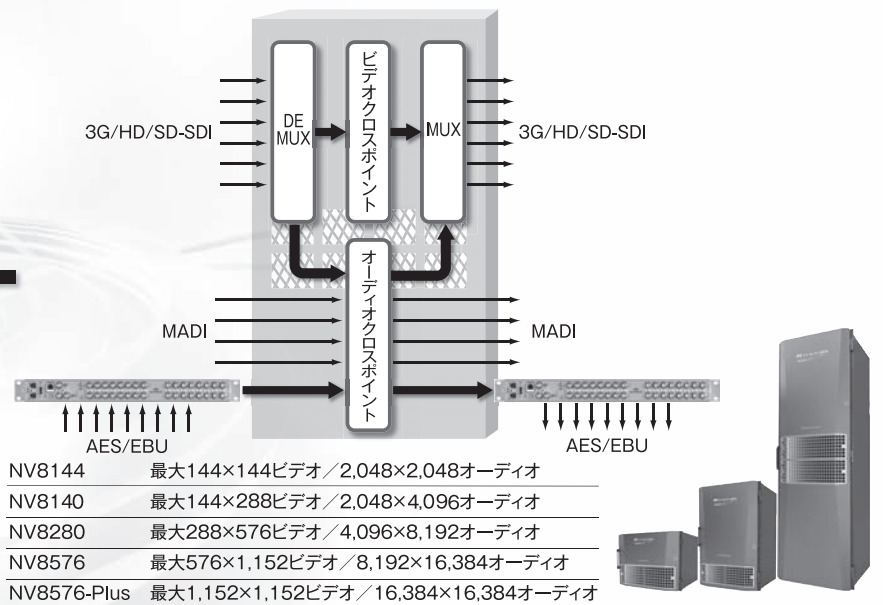
「マッピングテーブル」は、3Dプリンターで出力した対象物などに対して、全周からのマッピングを実現することにより、物体を映像で包み込む先進的な表現が可能なディスプレイ装置。自動車や家電などの製品開発におけるデザインシミュレーションや「デジタルものづくり革命」を推進するシステムとして期待されている。製造業向けのデザインレビュー、展示会やショー

「マッピングテーブル」は、3Dプリンターで出力した対象物などに対して、全周からのマッピングを実現することにより、物体を映像で包み込む先進的な表現が可能なディスプレイ装置。自動車や家電などの製品開発におけるデザインシミュレーションや「デジタルものづくり革命」を推進するシステムとして期待されている。製造業向けのデザインレビュー、展示会やショー



NVISION ハイブリッド・ ルーティングスイッチャー ビデオとオーディオを自由自在にスイッチング

- SDIエンベディッド・オーディオのシャッフル
- AES/MADIオーディオをSDIビデオへMUX
- SDIエンベディッド・オーディオをDe-MUXしてAES/MADI出力
- モノチャンネル単位のスイッチング
- 低遅延
- リダンダント・クロスポイント・オプション



現在、映像の高解像度化や高フレームレート化に伴い、いかに効率的に映像や音声信号を送信するかが問われている。その1つがIP化であり、従来のSDI信号伝送に代わりうるものとして注目されている。米NewTekはこれに対し、IPで映像をやりとりするための独自の伝送プロトコル「ネットワーク デバイス インタフェース (NDI)」を提案。4月18日からラスベガスで開催される「NABショー2016」から、本格的に提供を始めていく。

NewTekは1986年に設立。90年に発表としています。特にライブプロダクション市場では、次々と最新の3DCGソフト「ライトウェーブ3D」で二躍名を知られるようになった。現在は、ライブプロダクション用スイッチャー「トライキヤスター」と、スポーツ制作向けリプレイシステム「3Play」、スカイプによるビデオ通話をHD放送に載せる

「トークショー」の3製品を主力に展開している。アジアパシフィック地区の販売を担当するロバート・ステイシー氏は「当社は、導入しやすい価格帯で革新的な制作向

NewTek

本格提供を開始

IPプロトコル「NDI」

◆映像ソースを無限に利用

答社の3割が既に開始しており、7割が2016年までに開始すると答えている。

移行理由で最も多い回答は「既存設備の利用コストを下げる」ということで、半数を占める。これにリモートモニタリングやコントロールのコスト削減、スタッフの稼働効率の向上などが続いている。

ステイシー氏は「SDIをもとにした現在のライブラリでは、規模と接続性に限りがある。アルファチャンネルが含まれる信号もバンプアップが必要だが課題は、リモートモニタリングやコントロールのコスト削減、スタッフの稼働効率の向上などが続いている。

「NDIは、標準的な10ギガビットイーサネットのネットワーク経由で、接続されたカメラやソースを、入力された映像がリスト表示され、ベースバンドの入力を追加工具を追加することなく、映像ソースの数を無限に増やすことができる。IPネットワークの作成に、特殊なサーバーを使う必要のない「ゼロコンフィグ」であることも特徴として

追加することなく、映像ソースの数を無限に増やすことができる。IPネットワークの作成に、特殊なサーバーを使う必要のない「ゼロコンフィグ」であることも特徴として

追加することなく、映像ソースの数を無限に増やすことができる。IPネットワークの作成に、特殊なサーバーを使う必要のない「ゼロコンフィグ」であることも特徴として

追加することなく、映像ソースの数を無限に増やすことができる。IPネットワークの作成に、特殊なサーバーを使う必要のない「ゼロコンフィグ」であることも特徴として

追加することなく、映像ソースの数を無限に増やすことができる。IPネットワークの作成に、特殊なサーバーを使う必要のない「ゼロコンフィグ」であることも特徴として

追加することなく、映像ソースの数を無限に増やすことができる。IPネットワークの作成に、特殊なサーバーを使う必要のない「ゼロコンフィグ」であることも特徴として

追加することなく、映像ソースの数を無限に増やすことができる。IPネットワークの作成に、特殊なサーバーを使う必要のない「ゼロコンフィグ」であることも特徴として

追加することなく、映像ソースの数を無限に増やすことができる。IPネットワークの作成に、特殊なサーバーを使う必要のない「ゼロコンフィグ」であることも特徴として

追加することなく、映像ソースの数を無限に増やすことができる。IPネットワークの作成に、特殊なサーバーを使う必要のない「ゼロコンフィグ」であることも特徴として

追加することなく、映像ソースの数を無限に増やすことができる。IPネットワークの作成に、特殊なサーバーを使う必要のない「ゼロコンフィグ」であることも特徴として

追加することなく、映像ソースの数を無限に増やすことができる。IPネットワークの作成に、特殊なサーバーを使う必要のない「ゼロコンフィグ」であることも特徴として

追加することなく、映像ソースの数を無限に増やすことができる。IPネットワークの作成に、特殊なサーバーを使う必要のない「ゼロコンフィグ」であることも特徴として

追加することなく、映像ソースの数を無限に増やすことができる。IPネットワークの作成に、特殊なサーバーを使う必要のない「ゼロコンフィグ」であることも特徴として

追加することなく、映像ソースの数を無限に増やすことができる。IPネットワークの作成に、特殊なサーバーを使う必要のない「ゼロコンフィグ」であることも特徴として

追加することなく、映像ソースの数を無限に増やすことができる。IPネットワークの作成に、特殊なサーバーを使う必要のない「ゼロコンフィグ」であることも特徴として

追加することなく、映像ソースの数を無限に増やすことができる。IPネットワークの作成に、特殊なサーバーを使う必要のない「ゼロコンフィグ」であることも特徴として

ツールセットも発表

◆ラインアップ

現在、ネットワーク上のコンピュータでNDIを利用するためのツールセットが発表されている。ラインアップは以下のとおり。

「NDIコネクタ」は、この思想を原点にNDIを開発したので、NDIは、標準的な10ギガビットイーサネットのネットワーク経由で、接続されたカメラやソースを、入力された映像がリスト表示され、ベースバンドの入力を追加工具を追加することなく、映像ソースの数を無限に増やすことができる。IPネットワークの作成に、特殊なサーバーを使う必要のない「ゼロコンフィグ」であることも特徴として

追加することなく、映像ソースの数を無限に増やすことができる。IPネットワークの作成に、特殊なサーバーを使う必要のない「ゼロコンフィグ」であることも特徴として

追加することなく、映像ソースの数を無限に増やすことができる。IPネットワークの作成に、特殊なサーバーを使う必要のない「ゼロコンフィグ」であることも特徴として

追加することなく、映像ソースの数を無限に増やすことができる。IPネットワークの作成に、特殊なサーバーを使う必要のない「ゼロコンフィグ」であることも特徴として

追加することなく、映像ソースの数を無限に増やすことができる。IPネットワークの作成に、特殊なサーバーを使う必要のない「ゼロコンフィグ」であることも特徴として

追加することなく、映像ソースの数を無限に増やすことができる。IPネットワークの作成に、特殊なサーバーを使う必要のない「ゼロコンフィグ」であることも特徴として

旗艦モデルの「トライキヤスター8000」

北米で実施されたある調査では、放送局や通信会社の多くは4KよりもIP設備への投資を先行していることが分かっている。IPへの移行は回

効率的な映像伝送を実現 ビデオソースを無限に増加

200社以上が機器開発を開始

追加することなく、映像ソースの数を無限に増やすことができる。IPネットワークの作成に、特殊なサーバーを使う必要のない「ゼロコンフィグ」であることも特徴として

追加することなく、映像ソースの数を無限に増やすことができる。IPネットワークの作成に、特殊なサーバーを使う必要のない「ゼロコンフィグ」であることも特徴として

追加することなく、映像ソースの数を無限に増やすことができる。IPネットワークの作成に、特殊なサーバーを使う必要のない「ゼロコンフィグ」であることも特徴として

追加することなく、映像ソースの数を無限に増やすことができる。IPネットワークの作成に、特殊なサーバーを使う必要のない「ゼロコンフィグ」であることも特徴として

追加することなく、映像ソースの数を無限に増やすことができる。IPネットワークの作成に、特殊なサーバーを使う必要のない「ゼロコンフィグ」であることも特徴として

追加することなく、映像ソースの数を無限に増やすことができる。IPネットワークの作成に、特殊なサーバーを使う必要のない「ゼロコンフィグ」であることも特徴として

追加することなく、映像ソースの数を無限に増やすことができる。IPネットワークの作成に、特殊なサーバーを使う必要のない「ゼロコンフィグ」であることも特徴として



MAKE THE SWITCH TO IP

Introducing NewTek Advanced IP Workflow

次世代のライブプロダクションへ。標準プロトコル、標準ギガビットイーサネット
で広がる NewTek の IP プロダクションワークフロー。

http://jp.newtek.com/

国内でのお問い合わせ • 株式会社アスク Newtek_info@ask-corp.co.jp • 株式会社ディストーム tricester@dstorm.co.jp

UHDが放送技術の潮流に

NABショー2016 18-21日 米ラスベガスで開催

ソニー 新開発の4Kカメラ

米国ラスベガス・コンベンションセンターで、18-21日の4日間(カンファレンス・16-21日)に開催されるNABショー2016(主催:全米放送事業者協会)は、4K・8KのUHDが世界規模の放送技術の潮流として認識される大会になるだろう。UHDの一方で大きな流れとなっているOTT(Over The Top)に向けても多種多様な新開発の製品が登場する。

HDRでも対応製品

NABショー2016最大の展示テーマであるUHDに関しては、日本メーカーが世界をリードしている。「Beyond Definition」をテーマとするソニーは、新規開発の4Kカメラをはじめとする4K映像制作機器のラインアップを展示。4Kのトータルソリューションをさらに拡充する。

パナソニックは、4KシネマとIP技術を軸にUHD時代の映像制作・報道取材ソリューションを展開する。取材先と放送局をつないでデータを伝送する「P2 Cas」や、VOIP (Voice over IP)、新製品の4Kスタジオハンディカメラなど4Kラインアップや先進的なENGワーク

OTT/VOD向けも多彩

HDRについても新たな対応製品やソリューションを展開。独自開発のIPインフラ技術「ネットワーク・メディア・インターフェース」に対応した製品群やソリューションにも注目が集まる。

IP技術をベースにした製品もさらなる進化を遂げる。Newtekは、NDI (ネットワーク・

デバイス・インタフェース)のもと、ポータブル映像制作システムの「TrioCaster」をベ

ルチフォーマット対応Live/Fileエンコーダーを出展するのはK

ChyronHego社ブースではオランダのVidiGo (ウィディ

ゴ)社製品が展示される。新スポートアリーナ向けワークフロー「VidiGo Arena」を

アビッドは、Avid Everywhere 構想に基づき、報道、スポーツ番組制作、ポストプロダクション、オーディオ、ライブサウンドに

ATOMOSは、LogカンマカーブによるHDR収録時に、自然な色調と高輝度階調の表示を実現するAtom HD Rモード搭載のモニター一体型レコーダーをアビ

富士フイルムは世界最高107倍ズームを実現した「FUJINON UA107×8.4」と、超広角4.5ミリの撮影が可能で4Kカメラ対応ワイドズームレンズ「FUJINON UA13×4.5」を発表する。SGOは最新のクレディンク/フィニッシングマシン「Mistika」を披露する。同システムは4K/8K以上の解像度をサポート。HDR/HFRまで幅広いコンテンツを扱える。NHKは、フルスペック8K(HDR、フレーム周波数120Hz、広色域、階調12ビット)機材を展示する。

に向けたソリューションを展示する。

Avid Everywhere 構想はさまざまな開発ベンダーとともに、コンテンツ制作にかかわるクリエイターをほかのクリエイターやメディア企業、技術と結び付け、さらには完成作品の販売が可能となるプラットフォーム構築を目指すものだ。

ATOMOSは、LogカンマカーブによるHDR収録時に、自然な色調と高輝度階調の表示を実現するAtom HD Rモード搭載のモニター一体型レコーダーをアビ



OTT向けソリューションも多種多様に(NABショー2015)



ソニーから新たな4Kカメラが発表される(NABショー2015の「HDC-4300」)

発表する。

OTT/VOD向けマルチフォーマット対応Live/Fileエンコーダーを出展するのはK

ChyronHego社ブースではオランダのVidiGo (ウィディ

ゴ)社製品が展示される。新スポートアリーナ向けワークフロー「VidiGo Arena」を

アビッドは、Avid Everywhere 構想に基づき、報道、スポーツ番組制作、ポストプロダクション、オーディオ、ライブサウンドに

ATOMOSは、LogカンマカーブによるHDR収録時に、自然な色調と高輝度階調の表示を実現するAtom HD Rモード搭載のモニター一体型レコーダーをアビ

富士フイルムは世界最高107倍ズームを実現した「FUJINON UA107×8.4」と、超広角4.5ミリの撮影が可能で4Kカメラ対応ワイドズームレンズ「FUJINON UA13×4.5」を発表する。SGOは最新のクレディンク/フィニッシングマシン「Mistika」を披露する。同システムは4K/8K以上の解像度をサポート。HDR/HFRまで幅広いコンテンツを扱える。NHKは、フルスペック8K(HDR、フレーム周波数120Hz、広色域、階調12ビット)機材を展示する。

に向けたソリューションを展示する。

SGO Beautifully Creative Technology

グレーディング / オンラインフィニッシングマシン

MISTIKA

発表!
MISTIKA
Ver8.7

詳細は下記にて...

4K/8K 環境での圧倒的なスピードとクオリティをご体感ください。

NABSHOW
Where Content Comes to Life

NAB2016 NO. SL9027 [SGOブース]



共信 Kyoshin Communications
コミュニケーションズ

東京都品川区北品川5-9-11 大崎MTビル4F
TEL:03-3445-2070 Mail:info_mk@kycom.co.jp

kycom.co.jp

NABSHOW™
Where Content Comes to Life™

出展概要

1

4KシネマとIP技術を軸に展開

パナソニック

【ブースNo. C3607】

パナソニックは、4KシネマとIP技術を軸に、制作・放送業務を次の時代へ導く製品ラインアップを展開する。

“Panasonic 4K Cinema”や“ULTRA Connected ENG Workflow”などをテーマに、UHD時代の映像制作・報道取材ソリューションを提案。新製品の小型軽量4Kカメラレコーダー「VARICAM LT」を展示し、パナソニック・シネマではその4K作品を放映する。さらに、UHD時代に求められるHDR技術も展示。



VARICAM LT

また、取材先と放送局をつないでデータを伝送する「P2 Cast」や、映像制作業界で注目のVideo over IP、新製品の4Kスタジオハンディカメラなど、豊富な4Kラインアップや先進的なENGワークフローを紹介する。

Timecode Systems

【ブースNo. C2221】

アスクが国内販売を担当しているTimecode Systems社は、タイムコード、同期信号やメタデータを共有するワイヤレステクノ



: pulse

ロジーのパイオニア。

同社は、フラグシップ機「:wave」と「:pulse」に搭載された新機能「B:LINK Hub」を発表する。これは、接続したTimecode Systems 製品をダッシュボードに表示し、リアルタイムにアク

セスする機能。

Wi-Fi接続のほか、「:pulse」に接続したイーサネットでアクセスできる。iOS、Androidを搭載したスマートフォンやタブレット、Mac、Windowsのウェブブラウザに対応している。ダッシュボードから、収録のスタート/ストップをはじめとしたカメラ、音声レコーダーを制御すると同時に、映像と音声のタイムコード同期、メタデータも統合管理する。ブースでは「B:LINK Hub」によるワークフローの先進性をライブデモで紹介する。

また、Sound Devices、PureBlendとのパートナーシップにより、「:wave」の最新ファームウェアに新機能を搭載し、「:wave」のデータポートから「Sound Devices 6シリーズレコーダー」のUSBポートを介してTimecode Systems Syncと連携することが可能になった。

武蔵

武蔵が取り扱うスネル・アドバンスト・メディアとシネジーの出展概要は以下のとおり。
▽スネル・アドバンスト・メディア【ブースNo. SL1805】

「Alchemist XF」（旧称：アルケミスト・オンデマンド）は、SD/HD/2K/4Kなど多様なファイルフォーマットに対応する動き補正機能を備えたフレームレート・コンバージョンツール。最新バージョンではシングル・ライセンスを6つ使用することで、HDフ

ァイルの変換処理が最大で6倍速となる。DNxHR（MOV wrapped）やカスタム入出力フレームレート（12Hz～300Hz間）をサポートしている。

▽Cinegy社【ブースNo. SL11116】
Cinegy社が開発するツールは、インジェスト、編集、トランスコード、送出制御までの共同作業を同時進行で実現する。送出制御のアプリケーション「Cinegy Air」は、8K送出まで対応するリアルタイム送出サーバーと、マルチ・チャンネル放送のための自動化ソフトウェアのデモを予定。

7つのエリアに分け製品紹介

朋栄

【ブースNo. C5117】

朋栄は「For-A World of Possibilities」をテーマに、ブースを7つのエリアに分けて製品を展示。撮影や中継などの各ワークフローで、製品がどのように使われるかを具体的に紹介する。

「カメラステージエリア」では、4K高速度カメラ「FT-ONE」シリーズをビデオサーバーに4K/120pで収録。「スポーツプロダクションエリア」では、スポーツイベントでの演出に向け、スイッチャーやマルチビューワーを、ソフトウェア「ギアリンク」で統合制御する。競技場の大画面をより魅力的に見せる「フレクサビリティ」も参考展示する。

「先端技術展示エリア」は12G-SDIや2SI、HDR、8Kなど新しい規格に向けた技術や製品を紹介する。

「FA-505」はマルチチャンネルシグナルプロセッサ。HDRおよび広色域に対応し、BT. 709とBT. 2020を相互変換できる。朋栄YEMエレクトックスの「LMCC-8000」

は、NHKと共同開発した8Kデュアルグリーン対応の色域変換装置。BT. 709からBT. 2020およびSDRからHDRに変換する。

「バーチャルスタジオエリア」では、背景に合わせて人物の影



FA-505

を生成するアドバンスドクロマキーヤーのほか、スイッチャー「HVS-100」および「HVS-2000」に実装できるThunderbolt 2インタフェースカードを披露する。

「ファールベースコーナー」では、IP伝送装置やLTO-7対応アーカイブレコーダー「LTR-200HS 7」を披露。サテライトパネルを使ったライブイベント向けシステムなどを展示する「ライブプロダクションエリア」や、小型4Kシステムを実演する「4Kプロダクションエリア」も準備している。

Ikegami

HD映像伝送に優れた
コストパフォーマンス

光ファイバで映像を容易に伝送



iHTR series

映像パケット化多重光伝送装置

iHTR-100本体

- 光ファイバ1本でHD-SDI信号6chを伝送可能。
- 装置間の映像伝送距離は標準10km。
- HD-SDI信号を非圧縮・低遅延伝送可能。
- 背面IFボードの交換が可能、用途に応じて入出力数を変更可能。

ループ機能

- 光ケーブルのループ接続とタブレットで複雑な映像配信も簡単に設置・設定。
- WDMでは実現しにくかったブロードキャスト配信を実現。

※使用条件などについては、弊社ホームページをご覧ください。

HD-SDIを各所で
自由に出し入れ

ループ伝送（例）



(最大8台までループ可能)

光複合カメラ
ケーブル

池上通信機株式会社 〒146-8567 東京都大田区池上 5-6-16

URL: <http://www.ikegami.co.jp/>

お問い合わせは ●放送第1営業部 TEL:03-5748-2201 / 2221 ●大阪支店 TEL:06-6389-4466 ●名古屋支店 TEL:052-705-6521 または右記営業所へ ●札幌 TEL:011-231-8218 ●仙台 TEL:022-292-2420 ●福岡 TEL:092-451-2521

NABSHOW™
Where Content Comes to Life™

出展概要

2

4K制作機器をラインアップ

ソニー

【ブースNo. C11001】
ソニーは「Beyond Definition」のテーマのもと、出展する。

ブースでは、4K放送を見据えた顧客の要望に応えるべく、新規開発の4Kカメラをはじめ、充実した4K映像制作機器のラインアップを展示。ソニーならではの4Kトータルソリューションを提案する。

また、昨今ニーズが高まっているHDR（ハイダイナミックレンジ）への対応も加速しており、NABでは新たな対応製品やソリューションを展開する。

さらに、大容量の4Kデータを効率よく運用するためのIPインフラ技術「ネットワーク・メディア・インターフェース」（独自開発）に対応した製品群やソリ

ューション、大容量データストレージに向けたオプティカルディスク・アーカイブの提案など、カメラ後段のワークフローでも最新の提案を紹介する。

こうした展示を中心に、ソニ



4K XDCAM Super35 handheld 「PXW FS5K1」

ーは、映像資産の付加価値向上と運用の効率化を実現する商品やソリューションを提案していく。

優れた操作性を持つ。今回、ブースでは4K 60P対応のエクステンダー、576ポートの大型MTXスイッチなどを出展する。19日には報映産業の担当者がブースで説明などをする予定。

▽Lasergraphics【ブースNo. SL8824】

東京光音に国内1号機を導入したアーカイブ・フィルムスキャナーを紹介。5Kイメージ・センサーを採用し、物理的なピン・レジの代わりに2Dオプチカル・ピン・レジストレーションを採用。スプロケット・レスの走行系で、破損のある丸まった古いフィルムにも、安定したスキャニングを実現している。

ヴァイテックビデオコム

【ブースNo. C6025】
ヴァイテックビデオコムは、プロフェッショナルビデオグラフィャー向け周辺機器メーカー。ビデオ撮影現場に革新的なソリューションを提供する。

「ライトパネルズ」アストラファミリーは、フラットパネル型LEDライト。「アストラワンバイワンソフト（色温度可変タイプ）」はソフトディフュージョン（白拡散版）タイプの新製品。高輝度・高CRIを誇る次世代のフラットパネル型LEDライト「アストラファミリー」の製品ラインアップに加わった。

アントンパウアー社製「シネ



シネバッテリー

シリーズ」は、プロフェッショナル用リチウムイオンバッテリー。最大12Aの連続電流出力に対応し、Vマウントを装備した。

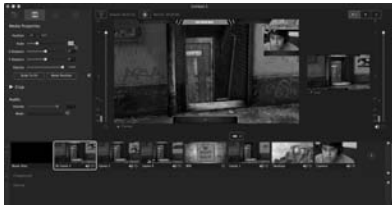
通常のENGカメラに加え、さまざまな周辺機器を組み込んで使用するシネマカメラシステムにも適応する。

強力な自動化ワークフロー構築

テレストリーム

【ブースNo. SL4525】

アスクが国内販売を手掛けるテレストリームは、「Vantage」メディアプラットフォームの新機能を発表する。「Vantage」はエンタープライズクラスのトランスコーディングとワークフロ



Gameshow

ーオートメーションソフト。メディアのインジェスト、エディット、変換、パッケージ化、高付加価値化、配信などの機能を搭載している。柔軟性の高いサービス指向型アーキテクチャに

基づいており、個々のサービスとコネクタを組み合わせることで、単一の統合されたシステム内で、強力な自動化ワークフローを構築できる。

テレストリームのブースでは「Vantage」向けの各種ワークフローをデモする。ファイルベースに基づいたワークフローエンジンを使用し、高速で効率的な意思決定やデータの処理が可能。ファイルのインジェストを待たずにアウトプットし、インジェストされたファイルは、並列動作する強力な分析とロジックにより短時間で連続的に出力される。

新機能は、マルチスクリーンOTT（オーバー・ザ・トップ）のワークフローのためのもので、ABR（アダプティブ・ビットレート）パッケージによって、マルチスクリーン配信アプリケーションの送信バンド幅を25-40%減少させる。

FUJIFILM
Value from Innovation

進化を続ける FUJINON 4K光学性能

圧倒的な4K光学性能で、
FUJINONが切り開く
4K映像の世界。

FUJINON放送用4Kレンズの
ラインナップがさらに拡大。

4K映像が求める高次元の性能を実現したFUJINON放送用4Kレンズが、より幅広い用途に応えるラインナップに。FUJINONレンズが長年に渡って培ってきた3つの“HIGH”―「HIGH RESOLUTION」「HIGH CONTRAST」「HIGH DYNAMIC RANGE」を極限まで高め、さらに最先端の光学技術を投入し、映像のプロが求める光学性能を実現します。



FUJINON
4K
ULTRA HD

FUJINON 4K
ULTRA HD



NEW

UA13x4.5
4.5-59mm 1:1.8

UA22x8
8-176mm 1:1.8

UA80x9
9-720mm 1:1.7

NEW

UA80x9 1.2x EXT
9-720mm 1:1.7
10.8-864mm (with 1.2x EXT)

NEW

UA107x8.4
8.4-900mm 1:1.7

富士フイルム株式会社

光学・電子映像事業部 営業グループ

http://www.fujifilm.com/products/optical_devices/

Panasonic

BUSINESS

The Cinematic VARICAM Look in Your Hands

C I N E M A

V LT

VARICAM

4K
PROFESSIONAL



ハイエンドのシネマクオリティ、自在のカメラワーク — VARICAM LT

クリエイターの“VISION”（構想・イメージ）を形にする高画質。ワークフローに“REVOLUTION”（革新）をもたらすイン・カメラ・デイリーズ。小型軽量の一体型。“VISION”を実現する“REVOLUTION”がここにあります。

- スーパー35mmイメージセンサー搭載。14+ストップのダイナミックレンジ、広色域、高感度の4K収録を実現。
- デュアルネイティブISO（800/5000）。夜間や室内の自然光撮影でもリアルでクリアな描写が可能。
- 本体約2.7kg、軽量コンパクトな一体型。ショルダーマウント、ジンバル、ドローン搭載など自在のカメラワーク。
- EFレンズ※マウント標準採用。PLマウント（オプション）との交換も容易で、撮影時に幅広いレンズ選択が可能。
- イン・カメラ・デイリーズ。4K／HDプロキシ・デュアルコーデック記録とカラーグレーディング機能を内蔵。

※全てのEFレンズの使用及び性能を保証するものではありません。詳細情報はパナソニックWebサイトに掲載予定です。



ショルダー・スタイル



ジンバル搭載



多機能コントロールパネル（付属）



PLレンズマウント（オプション）

NABSHOW™
 Where Content Comes to Life™

出展概要
3

次世代カメラ新シリーズ出品

池上通信機

【ブースNo. C7825】
 次世代カメラの新シリーズ “UNICAM XE” の第1弾として、2/3型4K CMOSセンサー3板式システムカメラ「UHK-430」を出品する。UHK-430は、2/3型 4K CMOSセンサ



UHK-430

ムカメラ「UHK-430」を出品する。UHK-430は、2/3型 4K CMOSセンサ

ー3板式の光学系を搭載した4K/HDMIマルチフォーマットシステムカメラ。新たに光学分離型構造を採用し、センサーユニット部分の延長が可能。

また、ヘリコプターテレビ中継に欠かせないジャイロスタビライザーへの搭載を目的に開発した超高感度HDTVカメラ「HDL-F3000」を初出品する。

モニターでは12G-SDI、4K対応の新製品「HQLM-3120W」を発表。加えて、HDR対応の4Kモニターを参考出品し、池上オリジナルのLog Gamma i-Logを含めたHDRのコンセプトを紹介する。

そのほか、日本放送協会と協同開発した8Kスーパーハイビジョンカメラ「SHK-810」を出品する。

8K放送用コーデック開発

NEC

【ブースNo. SL15713】
 NECは、NHKの協力のもと開発した8K放送用8K/60p映像コーデック（エンコーダー「VC-8350」、デコーダー「VD-8350」）を出展する。また、4K映像のリアルタイム処理を実現するコーデックの新製品（エンコーダー「VC-9700」、デコーダー「VD-9700」）も出展する。

8K放送用8K/60p映像コーデックは、映像符号化方式にH.265/HEVCを採用し、Main10プロファイル（Level6.1）まで対応。約500分の1までリアルタイム圧縮す

る。音声符号化はMPEG-4AAC-LCで、最大22.2chに対応。

デコーダーは、入出力信号の制御や伝送方式に合わせた信号処理（ベースバンド処理）をする本体部分と、映像信号の伸張のみを担当するサーバー部分の2つのユニットが連結して動作する。処理を分けることにより、高速かつ効率的に動作し、高品質な映像を再現する。

伝送規格はMMT（MPEG Media Transport）にも対応。MMTはコンテンツを同期配信するため、受信側は伝送路を区別することなく映像を表示。放送と通信を連携したハイブリッドサービスを容易にする。

テクトロニクス

【ブースNo. SU5006】

テクトロニクスは、ライブIPプロダクション、4Kコンテンツの制作、高解像度コンテンツの家庭配信への移行をサポートする総合的で革新的なソリューションを紹介する。

また、業界初のハイブリッドSDI/IPメディア解析プラットフォームの新製品「Prism」を出展。SDIベースからIPベースへのスムーズなインフラ移行を可能にする。

8K以上の高解像度にも対応

共信コミュニケーションズ

共信コミュニケーションズが扱うSGO社の出展概要は以下のとおり。

▽SGO【ブースNo. SL9027】

「Mistika」は4K/8K以上の解像度をサポートし、HDR/HFRまで幅広いコンテンツを扱うことができるグレーディング/フィニッシングマシン。最新バージョンの8.7を紹介する。

Mistikaは、LAを拠点とするBad Robotにより『スターウォーズ/フォースの覚醒』の制作でメインマシンとして使われた。カラーグレーディング、Depthグレーディング、ビジュアルエフェクト、コンフォーム、編集など、8Kを含めたさまざまな高解像度のプロジェクトでも、ハイスピードかつリアルタイムに動作する。

Mistika 8.7の主な特徴は次のとおり。Mistikaのユニカラーテクノロジーは、liner light、SM PTE2084、Hybrid Log Gamma、ACESなどのカラースペースにおけるグレーディング、デリバリーをシームレスに実施。

このほか、4K/UHD波形モニター WFM8000シリーズ、H.265/HEVC 4K映像のTS・PES・パッファ解析が可能なMTS4000型、コンテンツ検査を高速に実行するファイルベース・ビデオ・コンテンツ検証ソフトウェア「Aurora/Hydra」などをデモする。

さらに、ABRストリーミングに対応したシームレスなモニタリングおよび検証ソリューションとして、PVQ知覚ビデオ品質（eMOS）を数値化したQoEデジタルコンテンツ・モニター「Sentry」など、最新計測器を紹介する。



Mistika

ヤーなど、ポイント&クリック操作でできる精度の高いシステム。

多様なカメラフォーマット、解像度の混在したRAWフォーマットやミッシングファイル、定期的に編集情報がアップデートされたさまざまな素材からのコンフォーム作業がよりスムーズになる。

会期中は共信コミュニケーションズのスタッフが案内する。

PILOTFLY #2

3axis Stabilizer for DSLR / Mirrorless Camera



エンコーダー搭載モーター採用
 ツールレス 2.2Kg までのカメラに対応
 長寿命バッテリー 4方向ジョイスティック
 クイックリリースプレート
 32bit Alexmos コントローラー

カメラ、オプションハンドルは含みません。

<http://ydsnet.shop-pro.jp/>



必要な機能が1台に集約された
 “オール・イン・ワン”
 ブロードキャストミキシングコンソール



Flexibility

タッチセンシティブ・ローターエンコーダー/フルHDタッチスクリーン・ディスプレイを装備。ラウドネス・メーター、Audio-follow-video、Upmix/Downmix、Automix等、mc²シリーズ従来の機能も搭載。



Onboard I/O

オンボードインターフェイスは32 Mic/Line In, 32 Line Out, 8 AES In/Out, 8 GPIO, 1 MADI Port, 3 RAVENNA/AES67 Portを装備。mc² Compact I/O ステージボックス、Nova オーディオローターによる外付け拡張も可能。



Integrated DSP Micro-Core

512 × 512 ポート音声マトリクスを有する一体型 DSP マルチコアを内蔵。リダンダントを含む最大96 DSP チャンネルを実現。限られたスペースや移動の多い現場に最適なソリューション。

日本総代理店・デモンストレーションのご利用は

OTARITEC

オタリテック株式会社

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 3-30-16 TEL 03-6457-6021 FAX 03-5285-5281 www.otaritec.co.jp

NABSHOW™
Where Content Comes to Life™

出展概要

4

H.264エンコーダー実演

ジャパンマテリアル

ジャパンマテリアルの取り扱いメーカーによる主な出展内容は次のとおり。

▽Matrox Electronic Systems【ブースNo. SL6317】

Matroxは教育・医療市場向けH.264エンコーダー「Matrox Monarch LCS」を発表。高解像度HDライブ映像とPCのプレゼンテーション画面を同時に取り込み、Pin Pやサイドバイサイドなどに対応する。H.264での配信・録画が可能。OEM製品として新たにIP対応のI/Oをリリース。10GbEでマルチチャンネルビデオ入出力を実現するボード「X.mio3 IP Card」を出展する。

▽Visual Research【ブースNo. SL14213】

韓国のVisual Research Inc. (VRi) は、リアルタイム3Dキャラクタージェネレーター「Karis

maCG」とマルチフォーマットディスクレコーダー「D-Stream」を出展する。

▽ChyronHego【ブースNo. SL9321】

オランダのVidiGo（ヴィディゴ）社製品が、ChyronHego社ブースで展示される。マルチカメラライブTV制作用の「VidiGo Li



Matrox Monarch LCS

ve Compositor」を展示しながら、新スポーツアリーナ向けワークフロー「VidiGo Arena」を紹介する。

いずれのブースにも、日本語を話すスタッフが常駐する。

ブースには日本語スタッフが常駐する。

「Tiger Series」には、ソフトウェア版とハードウェアアプリケーションがあり、Avidピンロック対応のプロジェクト管理機能を搭載。既存インフラや汎用ストレージを生かしたシステム構成、段階的な拡張も可能。ウェブUIから簡単に設定管理でき、デフラグと連番ファイル最適化がストレージを自動管理する。レプリケーション機能によるバックアップと、SSDドライブを使用したストレージ階層化で、超高速ファイル共有を実現する。

エムアイシーアソシエイツ

エムアイシーアソシエイツが取り扱うTiger Technology社の出展概要は以下のとおり。

▽Tiger Technology【ブースNo. SL13613】

4K対応の映像編集向け共有ストレージソリューション「Tiger Series」を展示する。クライアントはWindows、Mac、Linuxをサポート、接続は16Gb/8Gb FC、10Gb/1Gb Ethernetから選択。多様な編集アプリに対応する、柔軟なマルチプラットフォームの共有ワークフローを構築できる。

DPSJ

DPSJ（日本デジタル・プロセシング・システムズ）が取り扱う各社の出展概要は次のとおり。

▽Metus【ブースNo. SL13309】

メディアアセットマネジメント「Metus MAM」、メディアインジェスト「Metus INGEST」の最新バージョンを展示予定。「Metus MAM」は、Sony ODA、Baton QC、YouTubeアップロードに対応。「Metus INGEST」は、Apple ProRes 4444、DNxHR、XAVCコーデック、Avid Interplayとの統合に対応する。

▽Imagine Communications【ブースNo. N2502】

エンタープライズ向けの分散トランスコード管理ソフトウェア群「SelenioFlex File」、多入力/多出力・ハイプロファイル対応のライブストリーミング・エンコーダー「SelenioFlex Live」を出展する。

▽DVEO【ブースNo. SU5724】

リアルタイムH.264エンコーダー「MultiStreamer」、ポータブル・リアルタイムH.264エンコーダー「MAMBA」、Web配信用プロトコル対応、IP入力デコーダー「D-Streamer」、パケットロ

スの修復機能付き拠点間伝送用トランスミッター&レシーバー装置「DOZERbox II」を出展する。

▽Wowza Streaming Engine【ブースNo. SU5324】

マルチプロトコル、マルチクライアント・ストリーミング対応ストリーミング配信サーバーを出展する。

▽THEOplayer【ブースNo. C8628】

次世代ウェブ標準HTML5対応のHLS動画プレイヤーを出展する。

▽Zixi【ブースNo. SU13602】

ビデオストリーミング対応QoSソリューションを出展する。

▽EVS MEDIA【ブースNo. SL3816】

4K/2K/HD/SD対応メディアインジェスト・マスタリングサーバー「OpenCube・HD/SD」を出展する。

▽harmonic【ブースNo. SU1210】

コントリビューションエンコーダー「Ellipse 3000」、業務用統合レシーバー・デコーダー「ProView 8100」を出展する。

▽GENERAL DYNAMICS Mediaware【ブースNo. SU6507】

コンテンツの二次利用および広告挿入MPEG TSロスレス処理ソリューション「InStreamシリーズ」を出展する。

各種ソリューションを展示・デモ

アビッド テクノロジー

【ブースNo. SU902】

アビッド テクノロジーは、報道、スポーツ番組制作、ポストプロダクション、オーディオ、ライブサウンドに向けた「Broadcast Everywhere」「Graphics Everywhere」「Video Everywhere」「Audio Everywhere」のソリューションを展示・デモする。メインステージでは特別ゲストの講演、

報道、ビデオ、オーディオ、スポーツ番組制作用のAvidソリューションをデモする。

Everywhere構想では、さまざまな開発ベンダーとともに、コンテンツ制作に関わるクリエイターをほかのクリエイターやメディア企業、多様なテクノロジーと結び付け、さらには完成作品を販売することが可能となるプラットフォームの構築を目指していく。



ATOMOS

SHOGUN STUDIO

SHOGUN YOUR STUDIO, MASTER YOUR 4K WORKFLOW.

ProRes

Avid DNxHR

4K

HD

Dual channel 4K/HD Rec & playout

Compact 3RU design

Waveform & exposure on each channel

Dual 7" SuperAtom IPS 325 PPI Calibratable Monitors

490,000 円 税込

7" IPS SUPERATOM

WFM

3D LUT

XLR AUDIO

FCPX XML

CALIBRATE

4K 422 10-BIT

HDMI 12/6/3/1.5G SDI

START/STOP TRIGGER

SSD

TIMECODE

✓✓✓

ATOMOS株式会社 〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1-2-3 AYビル
お問合せ：tel. 03-6661-2827 e-mail. atomosjapan@atomos.com

日本のお客様向け最新情報はこちら

f ATOMOS株式会社

► atomos.co.jp

NABSHOW™
 Where Content Comes to Life™

出展概要
5

4K対応の撮影機材を拡充

キヤノン

【ブースNo. C4325】

キヤノンは、小型で使いやすい新製品や新規格への対応を発表。現場の声にさらに応えている。

スーパー35mm対応のEFシネマレンズ「CN-E18-80mm T4.4 L IS KAS S」は、小型軽量で取り扱いやすいコンパクトサーボレンズ。4KおよびHDに対応する高い光学性能で、利用頻度が高い焦点距離をカバーする。グリップをつければ手元で操作でき、さまざまな撮影スタイルに対応する。

CINEMA EOS SYSTEMでは、4Kカメラ「EOS C300 Mark II」などを披露。アップデートされたファームウェアには新しいLogガンマ「Canon Log 3」を搭載する。従来同様の扱いやすさに加え、広いダイナミックレンジ（1600%）を備える。ビデオカメラ「XC10」

はAF速度を最大2倍まで高速化すると同時に、MP4記録が可能になる。

ディスプレイ「DP-V2410」はCanon Log 3を表示するほか、ARRIのカメラと連携しメタ情報を表示するなど利便性が向上する。4



CN-E18-80

Kの分割伝送方式である2サンプルインターリーブディビジョンにも対応する。Hybrid Log-Gammaの表示デモも実施する。

2/3型4Kレンズ「UHD DIGISUPER 86」 「CJ20e×7.8B IASE S」もNAB初展示する。

考えたライフプラス機能を搭載している。AC電源が遮断した場合でも充電状態のバッテリーが装着されていれば、UPSとして機能する。

このほか、DUO-Cシリーズ搭載の「D-TAPアドバンス」コネクタから充電できる「D-TAP充電器」や、7.2/7.4V系バッテリーに装備したX-TAPから充電できる「X-TAP充電器」を、参考出品として出展する。どちらもワンマン取材を想定した軽量コンパクトな製品。安全性を確保するため、センサーラインを搭載している。

アイ・ディー・エクス

【ブースNo. C6916】

アイ・ディー・エクスは、新製品のコンパクトVマウントバッテリー「DUO-Cシリーズ」2モデルを出展する。

「DUO-C95」は、空港持ち込み手荷物に対応した取材用バッテリー。「DUO-C190」は消費電力の大きなシネマ撮影機材などに最適な長時間撮影用バッテリー。

充電器の新製品「VL-2000S」はACアダプター機能付き2ch同時充電タイプ。バッテリー寿命を

カペラシステムズ

【ブースNo. SU13113】

カペラシステムズは、機能を新たに強化した最新バージョン「Cambria FTC 3.2」「Cambria Live 3.2」を発表する。

「Cambria FTC」はウェブ、モバイル、IPTV、放送で使用する各種ビデオフォーマット・ファイルへ変換する、高品質ビデオトランスコードソフトウェアソリューション。

最新バージョンの「Cambria FTC 3.2」では、64bitアーキテクチャによる8Kの入力/出力に対応。また、HEVC圧縮によるHDR（ハイダイナミックレンジ）の出力にも対応している。

「Cambria FTC 3.2」は、高品質HEVCコーデック、64bitUI対応により、HD解像度以上の映像ファイルとHDRに対応するなど、新しく要求されるトランスコーディングのニーズをサポートする。

「Cambria Live 3.2」では、新たに、AJA HEVC 4Kキャプチャボード使用による、HEVC 4K 60fps配信に対応する。RTMP、SNMPのタイムコード対応機能を追加し、プロフェッショナルライブエン

コードのワークフローをサポートしている。このほかの強化機能として、高品質インタレース解除、Windows 8、8.1、10のデスクトップキャプチャーのためのフルフレームレート最適化が追加されている。

「Cambria Live Broadcast Manager 3.2」は自動化ワークフローを必要とするハイエンドプロフェッショナル用途に特化したシステム。REST APIサポート、SDIルーティング設定機能といった新機能を追加。メインとバックアップのサーバーから配信することで、リダンダンシー（冗長性）を持たせている。コスト効率のよいハードウェアエンコーダーに取って代わるソフトウェアソリューションだ。「Cambria Live 3.2」と「Cambria Live Broadcast Manager 3.2」を併用することで、多様な視聴者向け高品質プログラムを提供。

「Cambria Live Assist」は、「Cambria Live」のプロジェクトや配信スケジュールが行えるアプリケーション。ネットワーク接続されたPCにインストールすることで、簡単に「Cambria Live」のプロジェクト設定ができる。

ユーザー事例を交えて製品デモ

オートデスク

【ブースNo. SL3316】

オートデスクは、メディア&エンターテインメントの最新ソリューションを紹介する。「Autodesk Flame」の最新情報とユーザー事例、「Flame」と「Maya」を使ったハイエンドなユーザー事例、Lustreの次世代のカラーワークフローの紹介、プロジェクト管理ツールのSHOTGUN、3DCGソリューションであるAutodesk

Maya、Autodesk 3ds Maxの最新情報などを紹介する。

また、イベントとして、投票で選ばれたFlame Award受賞者の表彰式「Flame Award」を、18日17-18時にブースで実施する。

日本語デモ「Japanese Demonstration」は、19日16-17時に開催する。

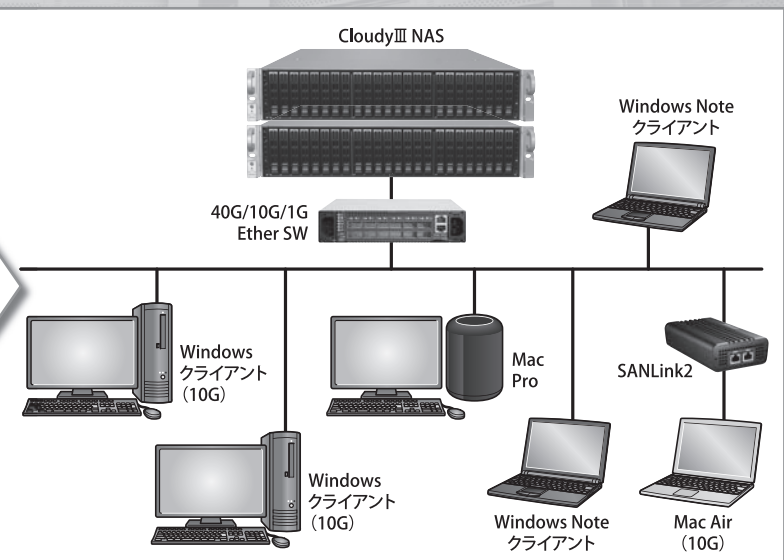
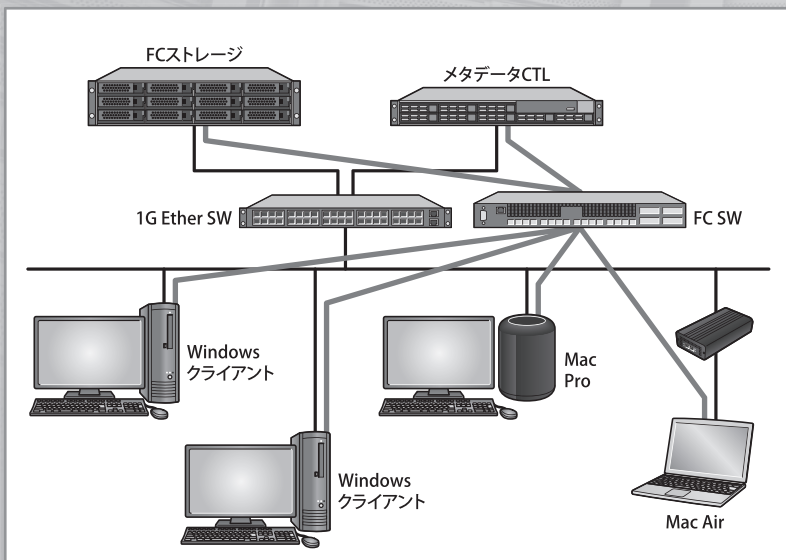
さらに、スペシャルゲストを招き、プロフェッショナルなMayaユーザーがMayaについて語る「Maya Mixer」を、19日18時-19時30分に開催する。

ストレージのプロ集団ニューテック

cloudy
 NAS Product Series

4G FC、8G FC機材の老朽化による機材更新を検討されていませんか？

ニューテックはNASによるSANの置換えを提案いたします

<http://www.newtech.co.jp/topics/column/broadband/bb1/index.html>

Newtech Co.,Ltd.
株式会社ニューテック

〒105-0013 東京都港区浜松町2-7-19 KDX浜松町ビル

<http://www.newtech.co.jp>
【営業部 営業一課】
 Tel:03-5777-0852 (代) Fax:03-5777-0853 E-mail:sales_1@newtech.co.jp

【営業部 営業二課】
 Tel:03-5777-0880 (代) Fax:03-5777-0853 E-mail:sales_2@newtech.co.jp

【OEM営業部 OEM営業課】
 Tel:03-5777-0886 (代) Fax:03-5777-0853 E-mail:sales_oem@newtech.co.jp

Mellanox
 TECHNOLOGIES

PROMISE
 TECHNOLOGY, INC.

JPX
 東証JASDAQ上場
 証券コード：6734

NABSHOW™

Where Content Comes to Life™

4月18日～21日 ラスベガスコンベンションセンター

朋栄ブースのみどころ

スポーツプロダクションエリア



スタジアムの大スクリーンや、スポーツ中継に効果的な演出を実現する映像機器をシステムとしてご提案。また複雑化するシステムをパッケージ化し、ワンマン操作をコンセプトに開発したビデオウォールソリューションFLEXaVISIONを参考展示します。



ライブプロダクションエリア



コンサートやライブイベントなどの現場で活躍する映像機器をシステムとしてご紹介。



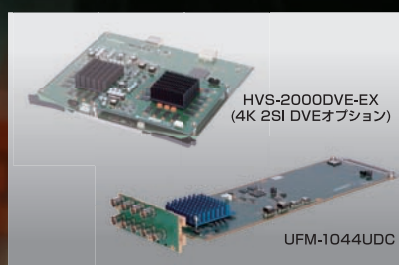
4Kプロダクションエリア



朋栄の持つ豊富な4Kラインナップを組み合わせ、システムとして展示します。可搬性にも優れたコンパクト4Kシステムも紹介。またステージでは、スポーツシーンのハイスピード撮影のデモを行います。



先端技術展示エリア ~FOR-A World of Possibilities~



朋栄の取り組む先端技術の紹介として、12G-SDI対応製品、HDR、広色域対応製品を展示します。ビデオスイッチャHVS-2000に世界初*の4K 2SI対応 3D DVEオプションを追加しました。

*2016年3月現在。当社調べによる

バーチャルシステムエリア

3次元的に自然な影を合成できるクロマキーACK-3000や、コンパクトスイッチャHVS-100/110 Thunderbolt™ 2対応オプションを展示します。



Thunderbolt およびThunderboltロゴはインテル株式会社の商標です。



ファイルベース・アーカイブエリア

Video over IP関連製品として、ベースバンド信号とIPの架け橋となるIP伝送装置MXR-200IPのほか、LTO-7対応アーカイブ関連製品を展示します。



このほかにも多数の製品・システムを出展致します。

セントラルホール・ブースNo.C5117

FOR-A Post NAB 2016開催決定!(各スケジュールは変更になる場合があります)

東京:5月19日(木)・20日(金)

仙台:6月2日(木)・3日(金)(東北映像機器フェスティバル)

札幌:6月16日(木)・17日(金)

大阪:6月23日(木)・24日(金)(関西放送機器展)

名古屋:7月7日(木)・8日(金)

福岡:7月21日(木)・22日(金)(九州放送機器展)

FOR-A World of Possibilities



FOR-A®
INNOVATIONS IN VIDEO
and AUDIO TECHNOLOGY
www.for-a.co.jp

NABSHOW™
 Where Content Comes to Life™

出展概要
6

IPプロダクション環境を拡充

NewTek

【ブースNo. SL5817】
 NewTekは、IPプロダクション環境を広げる「NDI(ネットワーク デバイス インタフェース)」のもと、ポータブル映像制作システムの「TriCaster」をベースに新しいツールの数々を紹介する。

NDIに対応するマルチカメラ対応のリプレイシステム「3Play」およびSkypeライブを、HDフルフレームで放送に乗せることがで

きる「TalkShow」のマルチチャンネル対応モデル「VS-4000」を発表し、ブースで公開する。

19日17時30分からは日本語セッションを開催する。



TalkShow

Harmonic

【ブースNo. SU1210】
 完全統合・一元管理されたサテライトおよびインターネットソリューションの一式を紹介する。ターゲット広告挿入、統合型業務用デコーダーのProViewライン内でのトランスコーディングから、FUZE-1 プレイアウトシステムを使用したフルエッジプレイアウトまで、主要配信ネットワークのエッジを活用。

多様なメディア関連業務に対応したHarmonic MediaGrid4000の新しいストレージソリューションは、従来のMediaGrid 3000に比べ帯域性能が2倍向上し、筐体当たりの容量も50%増加。

デモブースでの紹介のほかに、NABブロードキャスト・エンジニア会議では、Harmonic社スペシャリストによる講演も予定。

▼18日10時30分～／会議室 S219
 ソリューション&ストラテジー部門ヴァイスプレジデントの

ティエリー・フォティエ氏が、「映像配信関係者向けのUHDとATSC 3.0規格」と題したプレゼンテーションをし、UHD、ATSC 3.0への移行に有用な情報を提供する。

▼18日14時～／会議室S227
 イマージングテクノロジーおよび戦略部門シニアディレクターのイアン・トゥロー氏が、「ブロードキャストにおけるIPインフラをいかに活用できるのか」と題したセッションを設け、ブロードキャスト施設における全面的なIPインフラの使用および業務における実用面での課題について議論する。

▼18日17時～／会議室S227
 プロダクション&プレイアウト・ストラテジーおよびマーケット・ディベロップメント部門ディレクターであるアンディー・ウォーマン氏が、「SDIを利用したシステム構築からの脱却」と題し、IPインフラへの移行にあたって生じ得る課題を共有する。

アズラボ

【ブースNo. SL15716】
 H. 265 PCIeハードウェアデコーダーを複数枚使用した高精細

アベカス

【ブースNo. SL5713】
 アベカスは、スポーツ中継プロダクションに広く浸透した4/8ch仕様の4K対応ライブプロダクションサーバー「Mira」をデモする。

「Mira」は最大2chの4K記録/再生、4Kメディアファイルのインポート/エクスポートが可能。ライブスイッチャーが最速でビデオクリップを読み込み再生できるインタフェースを搭載。

クリップ上に素早くマーク、ロードし、マルチキューポイン

映像処理アプリケーションを出展する。また、ミドルエンドグラフィックスカードを複数枚使用したマルチディスプレイの動画再生を実現するソフトウェアのデモも実施する。

トを管理できるMarkCue機能を持つ。ブースでは、直接リプレイオペレーターが外部ビデオルーターを制御して、マルチソースをフィードできる新標準機能をデモする。

このほか、3chクリップサーバー「Tria」や、中継放送用プロファニティ遅延システム「Air Cleaner」をデモ。実際に操作して試すことができる。

また、ソニーブースでは「Mira」と「Tria」のシステム展示を予定。Ross Video社ブースでも、「Mira」をRoss Open Truck Initiativeシステムに接続したデモが予定されている。

最新8K機材とコンテンツ展示

NHK

【ブースNo. SU16202】
 NHKは、8月1日からのスーパーハイビジョン試験放送開始を踏まえ、開発を加速している最新の8Kスーパーハイビジョン機材とコンテンツを展示する。特に、フルスペック8Kの制作機器の展示により、さらに進化する8Kの魅力を紹介する。

フルスペック8Kとは、8Kの最上位フォーマットであるフル解像度、高ダイナミックレンジ、フレーム周波数120Hz、階調12bit、広色域表色系の映像。

主な出展製品は、「フルスペック8Kカメラ」「小型フル解像度8Kカメラ」「HDR8Kディスプレイ」「8K中継車」(SHC-2)など。

新開発・小型フル解像度8Kス

ーパーハイビジョンカメラは、NHKが8K放送開始に向けて研究開発を進めている実用的な8Kカメラ。ブースでは今回、世界初のフル解像度8K映像対応小型8Kカメラを出展する。従来のフル解像度8Kカメラは、3300万画素のイメージセンサーに赤(R)、青(B)、緑(G)の3枚を用いるため、入射した光を3色に分けるプリズムが必要でカメラの小型化が難しいという課題があった。

今回開発したカメラは、従来の4倍の画素数となる1億3300万画素のカラーイメージセンサーを用いている。プリズムを使わずに1枚のイメージセンサーでフル解像度の8K映像を撮影できる。これにより、従来の1/7以下の小型化・軽量化を実現。8K映像をより手軽に撮影できる。

8K、 大いなる一歩の、 その先へ。

「瞬も、永遠も、美しく。魅せたい感動の次元が、第一線のプロフェッショナルたちの審美眼を満足させ、過酷な要求に応えるアストロデザイン8Kシリーズ。最先端の二歩先を行く超高精細技術を駆使した8Kカメラヘッドをはじめ、高品位なレコーダー、信号伝送・処理装置など他に先駆けた製品群が、本格的な8K時代の到来を一気に加速します。」

8Kスーパーハイビジョン
カメラヘッド
AH-4800

8Kスーパーハイビジョン
55インチ液晶モニタ
DM-3814

8Kスーパーハイビジョン
SSDレコーダ
HR-7512-C

8Kスーパーハイビジョン
デジタルビデオ信号発生器
VG-876

8Kスーパーハイビジョン
クロスコンバータ
SC-8209-A

8Kスーパーハイビジョン
RAWレコーダ
HR-7516

営業本部
アストロデザイン株式会社
URL <http://www.astrodsgn.co.jp>

〒145-0066 東京都大田区南雪谷1-5-2
TEL:03-5734-6301 FAX:03-5734-6102

大阪営業所
〒533-0033 大阪府大阪市東淀川区東中島1-18-27-1010
TEL:06-6328-8558 FAX:06-6328-5058

メルマガ始めました 登録はこちら → <http://www.astrodsgn.co.jp/japanese/astro/mailmag/index.html>

ポムフォート ライブグレードプロ

撮影現場でルックを作成、リアルタイムに反映。

LiveGradePROはシネマカメラからのSDI信号にルックを即時に適用。リアルタイムに適用してカラー確認をするだけでなく、ALEXA XTやCodexのCDLライブラリも活用できるLiveGradeの高機能バージョンです。

ポムフォート・シルバースタック

オールインワン撮影素材管理ツール「シルバースタック」

- ・チェックサムベリファイで収録データを安全・確実にコピー&バックアップ
- ・クリップを分類・整理、撮影品質のチェック
- ・詳細な撮影素材コピーのレポート生成機能
- ・RED、ALEXA、AMIRA、C300、F5/F55…各種カメラに対応
- ・ARRIRAW対応
- ・トランスコード機能搭載

映像制作のためのネットワークストレージ

MIDO NAS

Macで放送局システムを構築するブロードキャストスイート

tools ON air

ツールズオンエア

プロジェクト共有・管理 編集コラボレーションシステム

STRAWBERRY

by FLAVOURsys
フレイバーシス・ストロベリー

バックアップ、アーカイブ。総合データ保護&管理ツール

CineRAID

Advanced Storage for Digital Cinema

MacでのMXFの受け渡しを実現するファイルベースワークフローツール

mxf4mac

エムエックスエフ フォー マック

株式会社 シナジー

www.synergykk.com TEL: 03-3654-3883

NABSHOW™
 Where Content Comes to Life™

出展概要
7

多様な伝送・編集システムに対応

エーディテクノ

エーディテクノが正規代理店として取り扱うDigital Forecast社の出展概要は以下のとおり。
▽Digital Forecast社【ブースNo. C8522】

参考出品のHDMI/SDIクロスコンバーター「X_SDI」は、フレームシンクロナイザー/オーディオディレイ/オーディオエンベデッド・ディエンベデッド機能を搭

載。さまざまな映像・音声の組み合わせの伝送・編集システムに対応する。オプション機能として、ロゴジェネレーターやシングルキーヤー機能も実装する予定。

このほか、未発表の4K対応製品や、現在発売中の5型タッチパネル液晶搭載HDMI/SDIクロスコンバーター「X_NEO1」、マルチコンバーター「X_MC」、超小型軽量「Micro」シリーズも展示する。

Digital Film Technology社

【ブースNo. SL10530】

アスクが国内販売を展開するGB Labsは、フィルムスキャンングテクノロジーの先進企業 Digital Film Technology (DFT) 社と協力し、SANを用いたソリューションに替わるものとして、NASを採用した「Scanity HDR」に対応するソリューションを発表。DFTブースでデモを実施する。

2K・4K DPXなどのファイルフォーマットでフィルムスキャンをする場合、メディアストレージの速度を一定に保つ必要がある。フレームの破損やドロップを起こさず確実にファイルをインジェストするためには、安定した高い性能が求められる。従来、SANを用いたソリューションが最適なストレージとして選



Space SSD

ばれてきたが、今回、GB Labsの新システムではNASでこれを実現する。さらに、インストールから設定、運用まで容易にでき、高価なソフトウエアライセンス不要でサードパーティ製のアプリケーションと同時に動作する。

DFTの「ScanityHDR」はスキャンをしながら16ビットの4K TIFF、あるいはDPXで大容量のファイルを出力する。GB Labsの「Space SSD」を使用したソリューションにより、最大9000Mbpsの速度性能を実現。

Space SSDはコンパクトで、Scanity HDRのケースに組み込める。必要な場合にはDFTからターンキーソリューションとして購入できる。

そのほか、GB LabsのNAS製品デモは、GB Labsブース（SL5517）で実施している。

ヴィレッジアイランド

ヴィレッジアイランドが取り扱う各社製品は、以下のブースで出展される。

▽ Dalet Digital Media Systems【ブースNo. SL3905】

「Dalet AmberFin: 高品質トランスコーダー」は、新たに：Workflow・Analyticsエンジン機能を搭載、HEVCに対応。「Dalet Brio」は、IT機器をベースにした低コストマルチチャンネルI/Oプラットフォーム。オールIP(SMPTE-2022-6)・IP/ベースバンド(Hybrid)移行する際、柔軟な対応が可能。

▽ DekTec Digital Video社【ブースNo. SU7102】

ユニバーサルRF変調PCIeボード「DTA-2115B」は、地デジ8電波に同時対応。ATSC3.0、DVB-S2Xなどにも対応。「DTA-2180」は、HD-SDI/HDMI/ファイル入力のH.264/MPEG2リアルタイムPCIeボード。このほか、4x ASI⇒IPのOEMモジュール「DTM-3224」を出展。また、プロトタイプ展示として、3G-SDI出力小型ボード「DTA-2175」、3xHD-SDI入力、1xHD-SDI+HDMI出力の「DTA-2153」、dual 10GbE with SFPsの「DTA-2165」をデモする。

▽ Skyline Communications社【ブースNo. SU11021】

世界中で導入実績を持つマルチベンダー対応ネットワークマネジメントシステム「DataMiner」を出展。今回は新機能として、IPマルチビューワー、RF、IP、ASIプロープの監視などを搭載した製品をデモする。

▽ Quales. TV社

【ブースNo. SU14605】

ファイルのビデオ画質の品質検査プロセスを自動化した製品を出展。新機能として、4K XAVC、パカパカチェック、クラウド対応などを披露する。

▽ Sencore/Wellav社

【ブースNo. SU2615】

80MbpsまでのHEVC 4K デコーダーOpenGear型ボード「AG9000」、MXFファイル対応したHEVC/H.264のビデオオフラインアナライザー「CMA1820」、DVB-S2XとCarrier ID対応した「SMD989」、衛星変調器「CMA1820」を出展する。

▽ Thomson Video Networks社/Harmonic社【ブースNo. SU4910】

「VIBE 4K」は、1RUサイズの4K 4:2:2 まで対応のHEVC リアル



DekTec 「DTA-2115B」

タイム エンコーダー。「VS7000」はHEVC対応のマルチスクリーン/OTTエンコーダーで、ソフトウエアのみ販売可能。

▽ Barnfind Technologies AS社【ブースNo. N902】

「BarnMini-11/12」は、12Gまで対応可能な小型コンバーター(12G-SDI、10GE、SFP、4K対応)。

「BarnOne 12G」は、12G-SDI対応CWDM光多重伝送1Uシャーシ。

▽ Axon Digital Design社

【ブースNo. N4524】

4Kソリューションとして、4Kアップ・ダウンコンバーターを出展。また、IPソリューションとして、SMPTE S2022-6対応を含めたシステムをデモする。

▽ Broadpeak社

【ブースNo. SU10402CM】

4K multicast ABR 配信対応のnanoCDN 最新バージョンを出展する。新技術「CDN Diversity」を組み込むことによりQoEの向上を実現させたCDN切り替えを実現している。

Broadcasting, Touching your emotion.



KOBASHOW 2016

2016年5月24日~27日 韓国ソウルのコエックス

第26回 韓国国際 放送音響照明機器展

KOREA INTERNATIONAL BROADCAST AUDIO & LIGHTING EQUIPMENT SHOW

KOBA, アジアの メディア産業のハブ。

スマートトレンドとコンテンツが結合した新しいパラダイム。

35カ国から950以上の出展社。

うち韓国からは170社。

60カ国から5万人以上が参加。

国際放送音響照明機器専門セミナー。

世界のメディアフォーラム

ORGANIZERS

Korea E & Ex Inc. / Korea Broadcasting Engineers & Technicians Association

Contact . Korea E & Ex Inc.

Tel. 82-2-551-0102 Fax. 82-2-551-0103 E-mail. koba@kobashow.com

www.kobashow.com



NABSHOW™
 Where Content Comes to Life™

出展概要

8

スイッチャー新製品を初披露

スネル・アドバンスト・メディア

【ブースNo. SL1805】

スネル・アドバンスト・メディアの新製品「Kula」は、低価格と性能を兼ね備えたパワフルなスイッチャー。NABショーで初披露となる。高品質フィニッシングシステム「Quantel Rio」は、HDRと広色域機能、新UI、Avidインテグレーション強化などの機能を紹介する。

ファイルベースコンバーター

リーダー電子

【ブースNo. C5109】

リーダー電子は4K波形モニター「LV 5490」を出展。新たに、HDR、12G-SDI、IP伝送に対応したオプションを展示する。

HDRオプションは、強化された波形表示、ピクチャー表示によって、HDRの信号レベル管理をサポート。高い輝度レベルを持つ部分をピクチャー画面で容易に確認できる「シネゾーン」表示機能を搭載している。

12G-SDI信号入力オプションにより、非圧縮の4Kビデオ信号をケーブル1本で伝送する12G-SDI信号を4本入力できる。最大4系統の4K映像信号の波形、ベクトル、ピクチャーなどを1台で観測可能。展示では12G-SDI信号のアイパターン測定機能を追加する。

IP入力オプションにより、IP(NMI) 伝送されたビデオデータをLV5490に直接入力できる。「LV

「Alchemist XF」は、4KとHDR素材に対応し、HDの処理をリアルタイムの数倍の速度で処理できる。

さらに、新製品としてコンテンツ尺の調整が可能な「Alchemist Kronos」を出展するほか、費用対効果の高いリアルタイム4K変換向け製品「UHD1000」を発表する。

また、IPへの移行を可能にするソリューションとして「IP-Edge」を紹介する。

5490」1台でSDI伝送とIP伝送両方同時に観測できる。

このほか、新製品として、シンクジェネレーター「LT4610」と4CHラスタライザー「LV7390」を展示する。

シンクジェネレーター「LT4610」は、1Uフルラックサイズの同期信号発生器。トリプルレートS DI (3G-SDI/HD-SDI/SD-SDI) 信号発生機能を搭載している。電源ユニットを2基内蔵し、万一の電源故障に際して電源の二重化冗長運転ができる。

「LV 7390」は、最大4系統のS DI信号を同時に測定できる4CHラスタライザー。入力信号は、3G-SDIとHD-SDIおよびSD-SDIに対応。フリーレイアウト機能により、測定画面を自由に配置できる。使用シーンに応じてさまざまなカスタマイズが可能。

ブースでは、新オプションの16CHデジタルオーディオモジュールを紹介。参考出品として4Kフォーマット対応オプションを展示する。

ニューエックス

ニューエックスが取り扱うNES TO DIの出展概要は以下のとおり。▽NEXTO DI【ブースNo. C12117】

軽量ポータブル高速バックアップストレージ「NVS2801」は、2.4型TFT LCDモニターを上部に装着し、現行モデル「NVS2825」のインタフェースを一新。高速バックアップスピードを実現した。2.5インチSSDのバックアップスピードは実行速度400Mbps。128GBを約6分。SxS/Cfast/SDメモリーカードビルトイン1式をポータブルケースに組み込んだ。

EIZO

【ブースNo. SL15116】

EIZOは、放送・映像コンテンツ制作者向けに開発中の「HDRモニター」（発売日未定）を参考出展する。昨年11月のInterBEEで初披露して以来、さらに開発の進んだHDR画質をデモする。

また、DCI 4K解像度/60p表示に対応し、DCI-P3色域を98%カバ

P2/XQD/CFはオプションのアダプターに対応。2K/4Kサムネイル表示およびプレビュー再生が可能。2.5インチSSD/HDDを簡単に取り外せる設計になっており、バックアップストレージの装着/交換もしやすい。

外付けインタフェースUSB3.0を2つ装備し、追加ストレージおよび各種メモリーカードリーダー取付などに対応する。手のひらサイズの0.43インチ2.5インチSSD/HD Dの取り外しも簡単だ。

製品出荷時期は6月を予定している。また、最上位機種NSB-25 Plusも最新ファームウェアで展示する予定。

ーする 31.1型のフラッグシップモデル「ColorEdge CG318-4K」や23.8型4K UHDの「ColorEdge CG248-4K」を展示。両モニターは、次世代スーパーハイビジョン放送の基準となるRec. 2020モードを備えており、リファレンス/編集制作用モニターとしての性能を紹介する。

日本語対応スタッフが常駐する。

低ビットレートで高画質伝送

東通インターナショナル

東通インターナショナルが取り扱うStreambox社およびVidcheck社の出展概要は以下のとおり。▽Streambox社【ブースNo. SU5521】

独自圧縮技術「ACT-L3」を搭載した映像伝送装置を出展。他のコーデックより低いビットレートで高画質の映像伝送ができ、通信コストを大幅に削減できる。3G/4G/LTE電話回線を複数束ねて利用するモバイルエンコーダー

からクラウドにアクセスすることにより、世界のどこからでも中継が可能。ラックマウントモデルは、コンサート中継やポストプロダクションでも多く使用されている。

▽Vidcheck社【ブースNo. SL5625】
ファイルベース映像の品質検査ソフトを出展。ビデオ・音声・ファイル構造に関する多くの項目を検査または修正する。フラッシュフレーム光過敏性発作 (PSE) の検査も可能。4K、HEVC/H265を含む多くのコーデックに対応する。

PLANAR
 A LEYARD Company

**UltraRes™
Series**
**3D & タッチ対応
大型 UHD LCD ディスプレイ**

Planar®UltraRes™シリーズは、ネイティブ4K表示に最適なクラス最高性能の高画質と色再現性を持ち、超高画質アップスケーラを搭載する75インチ、84インチ、98インチのプロフェッショナルLCDディスプレイです。500カンデラを超える高輝度表示の液晶パネルを超強化ガラスで保護、独自の32ポイントタッチセンサ、そして3D表示にも対応するクラス最強の性能を誇ります。フルHD4画面同時表示をも実現するプロセッサを内蔵、デュアル電源搭載で24時間稼働するデジタルサイネージ用途にも最適です。

NABSHOW™
 Where Content Comes to Life™

2016年4月18日より開催 NABに出展します！
ラスベガスコンベンションセンター、
ブース番号 #SL10510、北ホールにて。

レイヤードジャパン株式会社

本社・ショールーム：〒171-0014 東京都豊島区池袋 2-24-8 安楽ビル 1F
Tel 03(6915)2768 / Fax 03(6915)2798
HP <http://leyard.jp> / Facebook <https://www.facebook.com/leyardJP>
お問い合わせ (Mail) salesjp@leyard.com

LEYARD™

VITEC Videocom
 Advancing the quality and science of media production

アントンパワー Cine Series Li-Ion Battery

最大 12[A] の連続電流出力に対応。多様なカメラシステムに最適なVマウントLi-Ionバッテリーソリューション「シネシリーズ」。



Cine 150VM Battery


Litepanels® ANTON BAUER

ライトパネルズ Astra Family

高輝度、高CRIを誇るフラットLEDライト「アストラファミリー」の新製品、ソフトデフュージョンタイプ「アストラワンバイワンソフト」。

左：Astra 1X1 Bi-Color SOFT
右：Astra 1X1 Bi-Color


ヴァイテックビデオコム株式会社

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-1-38 芝公園三丁目ビル 1 階
電話：03-5777-8040 FAX：03-5777-8041

関西営業所 〒531-0072 大阪市北区豊崎5-2-13 電話：06-6359-2440 FAX：06-6359-2441

to see some of
our products!
Visit booth C6025

NABSHOW®

Where Content Comes to Life



Conferences: April 22–27, 2017

Exhibits: April 24–27, 2017

Las Vegas Convention Center | Las Vegas, Nevada USA



103,000+
MEDIA AND
ENTERTAINMENT
PROFESSIONALS

FROM 160+ COUNTRIES

From creation to consumption, across multiple platforms and countless nationalities, NAB Show® is home to the solutions that transcend traditional broadcasting and embrace content delivery in new ways. Welcome to the intersection of media, technology and entertainment.

NABShow.com

Join Us! #NABShow

NABSHOW™
Where Content Comes to Life™

出展概要

9

高い機能性と柔軟性を追求

AJA Video System

【ブースNo. SL2505】

AJA Video System社は、次の製品を中心に展示する。

「CION」は 4K/UltraHD および 2K/HD プロダクションカメラ。リアルタイム編集に対応するApple ProRes 4444 (最高4K 30fps) や ProRes 422 (最高4K 60fps) への直接収録および最高 4K120fpsでのAJA Rawデータ出力機能を装備。「CION」は優れたデザインと機能性を融合。「Science of the Beautiful」と表現される工学美を体現している。

「RovoCam」は、産業、企業、セキュリティ、オーディオビジュアル業界、放送用アプリケーション向けに開発したAJA 初のコンパクトカメラ。RovoCamの HDBaseTインタフェースは、カテゴリ5e/6 のシングルケーブル経由で 4K/UltraHDビデオのコントロール、給電、オーディオ、RS-232 が可能。

「FS シリーズ」は、コンパクトな 1RU サイズの中に、AJA の全ハードウェア変換専門技術が結集されている。非常に高い柔軟性を備えている。

「Ioシリーズ」は、デスクトップレベルの機能性を持ち運びでき、次世代のワークフローに対応し。編集ソフトウェア一式を実行できるパワーと、厳しい現場状況にも耐える頑丈さを兼ね備えている。

「Ki Proシリーズ」は、高品

質なファイルをPCで扱いやすいメディアに作成する、ファイルベースのレコーダー / 再生デバイス。広範囲に及ぶビデオオーディオ接続が可能のため、所有のカメラやレンタルしたカメラがどのようなタイプであっても、ほぼそのすべてと連動可能。

「KONAシリーズ」は、Mac Windowsにおける SD、HD、3G、Dual Link HD、2K および 4K のポストプロダクション処理、キャプチャー、プレビュー、編集、いずれのプロセスにも最適なエンジンを提供する。

コンパクトで堅牢な「KUMOコンパクトSDIルーター」は、重要



Ki Pro Ultra

なプロダクション環境に向けて構築されている。リーズナブルな価格で SMPTE の標準規格を上回る柔軟性とクオリティを提供する。

AJA のミニコンバーターは、最高レベルの信頼性と品質を兼ね備える。プロダクションからポストプロダクション、ライブイベントまで、コンパクトなボディで多様な制作ニーズに対応する変換機能と、インフラストラクチャ・ソリューションをスタンドアロンで提供する。

12G-SDI対応の4K/UHDウエーブフォームアナライザー「Ultra XR」を発表する。

▽FilmLight社【ブースNo. SL3829】

「Baselight 4.5」ソフトウェアを紹介する。進化を続けるBaselightソフトウェアのメジャー・アップ・バージョン。今回のバージョンアップでは特に合成関連の機能を中心に機能を強化した。

▽Convergent Design【ブースNo. C9918】

7.7型有機ELモニター付4K RAW SSDレコーダー「Odyssey7Q+」、4ch同時収録対応マルチカメラレコーダー「apollo」を展示する。

テクノハウス

テクノハウスが、国内1次代理店として取り扱っている各社の出展概要は以下のとおり。

▽evertz【ブースNo. N1502】

SDVN(ソフトウェアディファインドビデオネットワーク)の活用により、10/100GEでネットワークを構築できる製品を紹介。

SDVNは高い拡張性でUltra-HD (8K・4K)、HD、SDに対応。IPビデオスイッチングプラットフォーム「EXE」、マルチビューワーVIP-10Gなどを展示する。

▽オムニテック【ブースNo. C10418】

多彩なコンソールとケース展示

ニッキャビ

TBC Consoles社およびplaber社は、ニッキャビが取り扱うコンソール、ケースの開発会社で、高い機能と洗練されたデザイン性を両立している。各ブースの出展内容は以下のとおり。

▽TBC Consoles社【ブースNo. C9921】

映像業界で高い人気を誇る「IntelliTRAC」「SmartTRAC」が、さらにスタイリッシュになり展示される。また、セキュリティ監視やCG制作など多様なシーンで採用され、豊富な納入実績を持つ「ControlTRAC」「TracWall」も展示する。

▽plaber社【ブースNo. C2151】

昨年からニッキャビが販売開始したplaber社製の「HPRC レジ



plaber製品のラインアップ

ンケース」は、耐久性に優れた機能と、イタリアならではのデザイン性を備えた樹脂ケース。耐水性、耐じん性・耐衝撃性を備え、過酷な条件下のロケーション撮影などのキャリング用として適している。サイズ・形状などのバリエーションも豊富。国内では珍しいさまざまなタイプを展示する。

Square Box Systems社

【ブースNo. SL5025】

アスクが国内販売をする、CatDV社は、アセットマネジメントシステムのリーディングソフトウェア「CatDV」の各種新製品を出展する。

「CatDV 12」による「CatDV Server 7」のネイティブサポートは、新機能の1つ。また、同製品は64bitアーキテクチャを採用しており、堅牢なプレイバックエンジンにより、最新の放送フォーマットやカメラフォーマットにネイティブに対応している。

「CatDV Worker 7」は、自動化ワークフローとメディア管理にとって、常にシンプルかつ強みに機能するツール。「Worker 7」は、クラウド上やデータセンター内またはその両方といったエンタープライズ環境向けの製品。Linuxベースだが、Mac、Windows上でもサービスを実行できる。

「CatDV Pegasus Server」は、「CatDV」サーバーシリーズのフラッグシップ製品。大規模で要求の厳しいエンタープライズ環境に適している。高速なデキス

ト検索による「CatDV」の新しい高速化検索エンジンが搭載されている。優れた監視能力を備えており、「CatDV」データベース内の全変更データを追跡する。抽出システムとコンテンツ使用率をレポートするレポートイン



CatDVのGUI

グ・分析エンジン機能も搭載。

「CatDV Server 7」は、ブラウザ上で管理と設定を可能にし、パスマッピングの一元管理、より効率的な検索ツール、セキュリティグループを横断する柔軟性の高いメタデータを構築する。アップデート時に Square Boxのサポートチームのガイドを参照できる。

「CatDV Web 2.1」は「Server 7」とともに利用できる。

モニターにHDRモード搭載

ATOMOS

【ブースNo. C8925、C9525】

ATOMOSは、ポータブルなビデオモニターとApple ProRes/Avid DNx収録機能を一体にしたモニター一体型レコーダーを中心に製品展開している。NABブースでは、3月末から発売を開始した新製品「SHOGUN FLAME」と各社の最新カメラとの組み合わせを触って体験できる展示をする。

「SHOGUN FLAME」は、7型Full HD 高輝度S-IPS液晶、4K 30p ProRes/DNx記録対応のモニター一体型レコーダー。従来比約4倍の1500nitを実現した高輝度LCDパネルを採用し、野外での見やすさを向上した。加えて、Logガンマによるハイダイナミックレンジ(HDR)映像のモニタリングに



SHOGUN FLAME

判断を助ける。

HDMIおよび、6G-SDIの入力/出力端子を装備し、入力映像を常時出力変換するコンバーター機能も搭載。デュアルバッテリースロットを装備。交互にバッテリーを消費することで長時間の連続運用を実現する“Continuous Power”を採用するなど、撮影現場での利便性を向上している。

SDI入出力を廃した、HDMI入出力専用機「NINJA FLAME」も発売中。

アドビ システムズ

【ブースNo. SL3910】

アドビ システムズは、ビデオ編集、モーショングラフィックス、オーディオおよびコラボレーション関連のCreative Cloud ツールの新機能を公開する。高解像度映像制作向けにプロキシワークフローを強化。VR映像作成支援機能も搭載する。

メディア企業は、この制作機能と配信管理のAdobe Primetimeを組み合わせることで、さまざ

まなスクリーンに向けてTV番組やビデオを配信できる。また、同時に提供するデジタルマーケティングツールにより、視聴者獲得、継続利用、収益化の推進が見込まれる。

同製品は映像制作ツールとしても多く使われている。19日のCreative Master Seriesパネルでは、映画『デッドプール』のポストプロダクションチームが、最新のワークフローおよびAdobe Premiere Pro CCを使うに至った理由を語る。

アマゾン・ウェブ・サービス

【ブースNo. SL9016】

アマゾン・ウェブ・サービスは、映像業界におけるコンテンツの制作から配信までのワークフローで、クラウドを活用する際のカギとなる9つのワークロード(Acquisition/VFX/編集/DAM&アーカイブ/デジタルサブライチエーション/プレイアウト/Publishing/OTT/視聴分析)を、パートナ

ーソリューションと合わせて展示。また、プレゼンテーションで紹介する。

今年のハイライトは、昨秋買収したElemental Technologies社と連携した4Kライブ&VoD配信、日本でもサービスを開始した「Amazonビデオ」、大容量コンテンツをクラウドに取り込む「Snowball」。

ブースでは日本人のスタッフも対応する。

NABSHOW™
Where Content Comes to Life™

出展概要

10

IP対応モニタースピーカー

オタリテック

オタリテック取り扱いメーカーの出展状況は以下のとおり。

▽Riedel Communications【ブースNo. C7233】

インターカム・システム、マルチプラットフォーム光伝送のRiedel Communicationsはインター

カム・システムのキーパネルであるRSP-2318 Smart Panelの拡張パネルを発表予定。また、Tango, Artistインターカムシステムが一部オプションカードを通じてAES67対応となる。

シンプルな光伝送装置またはMADIインタフェースとして使用したり、MediorNetと組み合わせて分散型のビデオルーティングシステムの構築も可能な多機能インタフェースMediorNet Micronも展示予定。



LAWO社mcスクエア36

▽LAWO【ブースNo. N1822】

ブロードキャスト用デジタル・コンソールのLAWOからは国内でも導入が進んでいるmcスクエア36をはじめ、ビデオ・プロセッサV_Line, アナログ/IPインタフェースA_Lineなどを出品予定。

LAWO社ブースにオタリテック社員の常駐を予定している。

▽GENELEC【ブースNo. SL8024】

モニタースピーカーのGENELECからは、世界初RAVENNA/AES67 Audio Over IP対応モデル8430Aを出品予定。8430Aは、オートキャリブレーション機能を備えたGENELEC SAMシステムがIP接続で使用できる。

このほか、ラウドネス・コントロール・プロセッサのJunge r Audio「C2333」、テレフォン・ハイブリッドのAVT「N3438」などの出展もある。

次世代のオーディオ制作装置

ソリッド・ステート・ロジック

【ブースNo. C2627】

ソリッド・ステート・ロジック(SSL)は、各種最新製品を出展する。

「System T」は、SSL次世代のオーディオプロダクションシステム。ラージスケールコンソールで世界初のIPネットワークをベースとしている。IPネットワークベースのため、システム構築の自由度が非常に高く、またシグナルプロセッシングも800のパスを用意している。

昨年のIBC2015でプレ発表をし、今回正式リリースとして展示する。

「C10HD PLUS」は、プロセッサをサーフェスマウントしたミドルサイズのオーディオコ

ユニテックス

【ブースNo. SL15118】

ユニテックスは、バッテリー電源に対応し、ACを含めた2系統の電源入力を可能としたポータブルLTOアーカイブシステム「HandyLT HLT560L-BT」を初出展する。

ノートPCでコントロールでき、電力供給が不安定なエリアや大都市での予期せぬ停電など、万一のトラブルでも作業を中断せずにアーカイブを完了させられ

G-Technology

【ブースNo. SL6005】

G-Technologyは、撮影現場からフィニッシングまで、デジタル映像コンテンツ制作ワークフロー向けの商品群を展示。新製品も発表する。

ブース内では、世界中で活躍

ザクセル

【ブースNo. SL14610】

ザクセルは、ピンボケ補正・焦点深度拡大ソフト「zFocus」と、フィルムグレインおよび電子ノイズの除去ソフトウェア「Denoiser」、超解像アップコンバートソフト「Superscaler」を発表する。

4K・8Kのような高解像度カメラでは、被写界深度が浅くピント調整が難しい、ピン트가合う領域が狭いなどの問題が起こっている。新製品の「zFocus」は、この問題を解消する。ブースの

透過型有機ELディスプレイ

レイヤード

【ブースNo. SL10510】

「LEYARD TWA1.2/0.9」は54型サイズの液晶モニター同様に設置できる新しいLEDディスプレイシステム。レイヤード独自のコモンカソード技術と独自LEDチップ開発によって、超高輝度、低消費電力、ゴースト除去、そのほか多くの性能を向上した新製品。

「PLANAR L055」は55型の透過型有機ELディスプレイ。プラナー社独自のガラスボンディング技術と、先進の新デバイスである透過型有機ELパネルを採用した。これまでにない革新的なディスプレイで、日本市場ではニュース番組のセットで使われている。

レイヤードグループはプラナー社を傘下にしてから初めて合同ブースを持つ。

プラナー社は、1983年に米オレゴン州に設立。デジタルサインエージ分野、コントロールルーム分野、教育やリテール、ホームシアターに至るまで、総合映像機器製造メーカーおよびシステムインテグレーションを手掛ける。高性能タッチパネルや大型液晶ディスプレイの独自技術



LEDディスプレイシステム

を持ち、近年では独自の高精細データ表示システムをコントロールルーム市場へ投入するなど、急速に業績を伸ばしている。最新技術である透過型有機EL(OLE D)ディスプレイでも、いち早く市場投入を完了した。

主な出展製品は、Leyard TWA1.2(1.2mmピッチLED)8×8(フル8Kwall)、Leyard TWA0.9(0.9mmピッチLED)3×3(フル4Kwall)、Planar UltraRes UR9852(98型4K液晶モニター)、Planar UltraRes UR7551-Touch(75型4K液晶タッチモニター)、Planar EP5814K(58型4K液晶モニター)、Planar PS7050-Touch(70型4K液晶モニター)、Planar LookThru L055(55型透過型有機ELモニター)1×2 Portrait、Clarity Matrix超狭ベゼル3×3試作新製品。

多様な映像システムを出展

NIXUS／北海道日興通信

【ブースNo. SU14914】

テロップシステム、映像配信システム、プロジェクションマッピングシステムなど日本で培ってきたNIXUSの映像システムを出展。

「TelopBOX」は、NIXUSテロップシステムをコンパクトなノートPCに凝縮したテロップ送出システム。ノートPCでありながら、本格的なテロップデザイン、スケジュール編集、送出機能など、1台でイベントから放送まで多彩なシーンに対応。datavideo社の「TC-200」に対応したグローバル

FilmLight

【ブースNo. SL3829】

FilmLightは「Baselight」の新バージョン5.0を発表する。5.0には、新しいカラーコントロールと直感的なグレーディングツールが含まれている。HDRグレーディングと拡張したカラーギャットの両方に最適化された新しいツールセットも導入。

「Baselight5.0」のために新たに開発された「BaseGrade」は、

マーケットエディションをワールドプレミアとして先行公開する。HD-SDIでのFILL/KEY送出に対応した画期的なテロップシステムをデモ。

「TelopCanvas4」は、ノンリニア編集ソフト「EDIUS」、「MediaComposr」、「AdobePremiereProCC」のプラグインに対応したテロップ作成ソフト。日本のテレビ局で多くのシェアを誇る。

「MiLiveBOX」は、超低遅延・高レスポンスを実現した画期的な動画配信システム。

「ProjectionCanvas」は、低コストでありながらも全く新しい映像表現を実現するプロジェクションマッピングシステム。

人間の目が色をとらえる方法を正確に模し、base、exposure、tintの3つの要素によってイメージの色を調整する。HDRイメージの自然なグレーディングも可能。exposureの各ゾーンは、イメージ全体のバランスを損なうことなく独立して調整できる。BaseGradeは、カラーグレーディングに、より写真的なアプローチを導入するもので、exposureのストップ値やプリンターライトによって、DoP(撮影監督)が期待しているものを実現する。

NABSHOW™
Where Content Comes to Life™

出展概要

11

制作システムの最新バージョン

シナジー

シナジーが取り扱う企業の出展概要は次のとおり。

▽Cantemo【ブースNo. SL8726】
「Cantemo Portal」の最新バージョン2.3をデモする。

▽Object Matrix【ブースNo. SL6125】

ストレージクラウドをシームレスにワークフローにフィットさせる「MatrixStore」の最新版を出展する。

▽Pomfort【ブースNo. C8135】

シネマカメラからのSDI信号にルックを即時に作成できるツール「Live Grade PRO」などの最新版を出展する。

▽Root6Technology【ブースNo. S L11616】

ファイルベース・ワークフロー・マネジメントとオートメーションプラットフォームの「ContentAgent」バージョン3.5を出展。

▽FlavourSys【ブースNo. SL 8027】

FlavourSysは、アセットマネジメント・ソフトの開発会社。同社のソフト「Strawberry」の最新バージョンを出展する。

そのほかのブースは、以下のとおり。

▽ToolsOnAir【ブースNo. SL14513】

▽Archiware【ブースNo. SL15113】

▽SmallITree【ブースNo. SL12117】

▽CineRAID【ブースNo. SL14616】

▽AKiTio【ブースNo. SL15213】

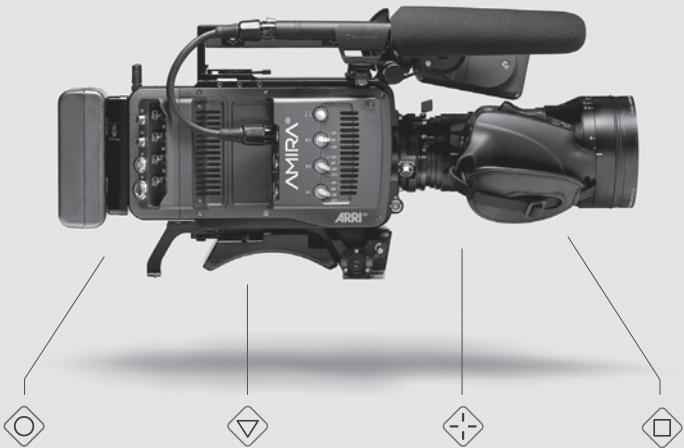
を出展する。大手スタジオのコンテンツアーカイブとして、容量の拡張が容易で運用コスト面でも革新的。クラウドや業務用ストレージの需要に対して、最新のインフラでシンプルに対応する。また、従来の煩雑なIT投資プロセスやシステム構築の必要がないのも特徴。

の4K撮影時のピント合わせや撮影した映像の確認用モニターとして適している。

IGZOパネルを採用し、約10Wと低消費電力を実現。最新の著作権保護技術HDCP2.2に対応しており、4K Blu-rayや4Kチューナーを接続しての表示も可能。

4Kファイルプレーヤー「SK-DS PS4K」は、4K動画ファイルを再生できる小型プレーヤー。

The new documentary-style camera



ALEXAから継承した
高画質、最高200fps収録

ワンマンオペレートに特化した操作性
完璧なショルダバランス

3D LUTによる
カメラ内蔵グレーディング

ARRIならではの
信頼性の高い筐体設計

Pick Up > Shoot

AMIRA

ARRI AMIRA. TRULY CINEMATIC.



www.nacinc.jp



株式会社 ナックイメージテクノロジー

映像制作：東京都港区北青山2-11-3：03-3796-7901

レンタル：東京都港区赤坂4-13-13：03-3583-7902

大阪／名古屋／九州

✉ seisaku@camnac.co.jp

f nacinc.rental



グラスバレー

【ブースNo. SL106】

「Complete IP Integration with Glass-to-Glass Solutions」をテーマに、撮影、リプレイ、スイッチング、グラフィックス、プレイアウト、自動化プロダクションを含むIPフルラインナップを出展。4K1-wire伝送、HDRなどの最新テクノロジーを紹介する。既存ワークフローへのシンプルで段階的なIP機器の追加をはじめ、IPを利用したトータルソリューションをデモする。

ブースのキー・ハイライトである「Glass-to-Glass IP solution」は、グラスバレー独自の“Glass-to-Glass”アプローチによるもの。カメラ、サーバー、プロダクションスイッチャー、ルーティングスイッチャー、マルチビューワー、IPゲートウェイやコントロールシステムなど、制作や送出アプリケーションで利用されるさまざまな製品をIP (SMPTE2022-6) 接続する。これにより、エンド・トゥ・エンドのトータルソリューションを実現。COTS (汎用) IPスイッチやSDNコントロールといった実績のあるIT技術を活用し、それらと既存のベースバンド技術を融合させることで放送オペレーションに最大限の柔軟性をもたらす。

「ブロードキャストデータセンター」は、GV NodeリアルタイムIPプロセッシングノードとGV Convergent IP対応ルーターコントロールシステムを中心とした新たな放送インフラシステムの概念。フォーマットに依存しないハイデータレート、広帯域、スケーラブルなシステムへの要

求に対応する。

「4K 1-wire」は、SMPTE 2022-6 IPI/Oモジュールを搭載した機器間での10Gイーサネットによる伝送規格。Into PIX社の4:1ピジュアリロスレス圧縮、低遅延コーデックのTICOを採用することで、拡張性や相互互換性を確保しながら1wire接続による4K運用を実現する。会場ではXCU IPカメラベースステーション、Karrera K-FrameプロダクションスイッチャーなどのTICO対応機器による伝送を実演する。

「GVNode」はリアルタイムのIPプロセッシングとルーティングが可能なSDIとIPSMPTE2022-6双方のブランキングスイッチに対応した次世代ルーティングプラットフォーム。

「GVConvergent」は、COTS (汎用) IPスイッチとSDN技術を採用した新世代のルーターコントロールシステム。SDIルーティングスイッチャーのコントロールパネルを使用してIPとSDI双方のルーティングを可能にする。

「STRATUS」は、報道やスポーツ中継などさまざまなワークフローで活用できる、フルセットのアプリケーションフレームワーク。

編集サーバー内にある素材管理が可能で、それぞれのアセットには素材情報、マーカーなどのメタデータの入力が可能。

「LDX86カメラシステム/K2DynoUniverseリプレイシステム」はHD 6倍速/4Kに対応。15FストップのHDRやBT. 2020色域をサポートしたLDX86カメラとK2DynoUniverseによるインスタンストリプレイシステム。あらゆる撮影ポジションでHD6倍速/4Kのリプレイが可能。

8Kプロダクション関連製品

アストロデザイン

【ブースNo. C10035】

アストロデザインは、8Kプロダクション関連製品をはじめ、素材アーカイブ管理システム、4K-HD 低遅延切り出し回転装置、HDR測定機能搭載4K波形モニター、MMTソリューションなどを出展する。

8Kプロダクション関連製品として、同社が先駆けて取り組んできた8K技術をさらに一歩進めたより使いやすい8K新製品を紹介する。8K SSDレコーダー「HR-7518」は、8K-DGからフルスペック8Kまで対応。従来は複数台の同期運転が必要だったが、1台でフルスペック8Kを記録・再生する。煩雑な接続作業を省き、費用と時間を節約する。

新製品のディスプレイポート対応8K液晶モニターは、同社の5.5型8Kモニターにディスプレイポート入力端子を装備することで、PCでの8K制作環境に対応した。

このほか、55型8K液晶モニター、8Kインタフェースコンバーター、8Kクロスコンバーターなど、8K番組制作や中継現場に欠かせない8K製品を出展する。

「素材アーカイブ管理システム」は、エンタープライズテープを記録メディアに採用することで、高速大容量データ転送を実現。データベースで素材アーカイブ属性情報を管理し、容易に検索を可能とするシステムを提案する。

「4K-HD 低遅延切り出し回転装置」は、日本テレビ放送網との共同開発製品。4K映像からHD

映像へ、任意の位置での切り出しを行い、各種効果を付加する。1Uハーフの小型サイズで、設置場所に制限のあるヘリコプターや小型中継車への搭載にも便利。1フレームと低遅延のため、生放送での使用にも適している。

「HDR測定機能搭載4K波形モニター」は、田の字、2SI、3840×2160、4096×2160などあらゆる



8Kカメラ「AH-4801-B」

形式の4K入力が可能。映像、波形、ベクトル、ヒストグラム、音声位相などの情報を任意の場所に自由なレイアウトで表示できる。今回、新たにHDR測定機能が加わり、HLG、SMPTE ST 2084など、さまざまなHDR形式に対応した波形が表示可能になった。

「MMTソリューション」は、2016年8月から衛星基幹放送による4K・8K試験放送で採用される伝送・多重化方式のMMT (MPEG Media Transport) に対応した各種製品群。MMTアナライザーやMMTレコーダー/プレーヤーなど、MMT関連製品に加え、新製品としてMMTのオフライン編集ソフトウェアを展示する。

これにより、MMTの収録・再生から、編集・解析までをトータルソリューションとして提供できる。

映像プロダクション年鑑2016

THE AUDIOVISUAL PRODUCTION YEARBOOK 2016

掲載プロダクション全国578社の企業概要・設備全貌を掲載

好評発売中

本書は、全国の技術系映像プロダクションについて、業種別（撮影プロダクション、撮影スタジオ、ポストプロダクション、CG制作スタジオ、DVDオーサリングスタジオ、ビデオ・オーディオライブラリー、機材レンタル、企画・プリプロダクション）に、会社概要および設備内容、巻末にはオンライン編集室、MA室の一覧を掲載しております。

※掲載例

■は営業業種
□は非営業業種
を表します

HD対応、サラウンド対応を表示

各ジャンルの項目ごとに、設備内容・設備機材・数量、ジャンルによっては作品名なども掲載しています

会社名・スタジオ名	所在地・連絡先など会社概要を示しています	会社の特長を記しています
-----------	----------------------	--------------

株式会社映像プロダクション	東京都港区	〒100-0001	TEL: 03-XXXX-XXXX	FAX: 03-XXXX-XXXX	URL: www.eizoshimbun.com
代表取締役	山田 太郎				
営業部長	佐藤 一郎				
営業課長	鈴木 健一				
営業係長	田中 次郎				
営業係員	山崎 三郎				
営業係員	佐々木 四郎				
営業係員	高橋 五郎				
営業係員	渡辺 六郎				
営業係員	森田 七郎				
営業係員	松本 八郎				
営業係員	石川 九郎				
営業係員	清水 十郎				
営業係員	山本 十一郎				
営業係員	田村 十二郎				
営業係員	山崎 十三郎				
営業係員	佐々木 十四郎				
営業係員	高橋 十五郎				
営業係員	渡辺 十六郎				
営業係員	森田 十七郎				
営業係員	松本 十八郎				
営業係員	石川 十九郎				
営業係員	清水 二十郎				
営業係員	山本 二十一郎				
営業係員	田村 二十二郎				
営業係員	山崎 二十三郎				
営業係員	佐々木 二十四郎				
営業係員	高橋 二十五郎				
営業係員	渡辺 二十六郎				
営業係員	森田 二十七郎				
営業係員	松本 二十八郎				
営業係員	石川 二十九郎				
営業係員	清水 三十郎				
営業係員	山本 三十一郎				
営業係員	田村 三十二郎				
営業係員	山崎 三十三郎				
営業係員	佐々木 三十四郎				
営業係員	高橋 三十五郎				
営業係員	渡辺 三十六郎				
営業係員	森田 三十七郎				
営業係員	松本 三十八郎				
営業係員	石川 三十九郎				
営業係員	清水 四十郎				
営業係員	山本 四十一郎				
営業係員	田村 四十二郎				
営業係員	山崎 四十三郎				
営業係員	佐々木 四十四郎				
営業係員	高橋 四十五郎				
営業係員	渡辺 四十六郎				
営業係員	森田 四十七郎				
営業係員	松本 四十八郎				
営業係員	石川 四十九郎				
営業係員	清水 五十郎				
営業係員	山本 五十一郎				
営業係員	田村 五十二郎				
営業係員	山崎 五十三郎				
営業係員	佐々木 五十四郎				
営業係員	高橋 五十五郎				
営業係員	渡辺 五十六郎				
営業係員	森田 五十七郎				
営業係員	松本 五十八郎				
営業係員	石川 五十九郎				
営業係員	清水 六十郎				
営業係員	山本 六十一郎				
営業係員	田村 六十二郎				
営業係員	山崎 六十三郎				
営業係員	佐々木 六十四郎				
営業係員	高橋 六十五郎				
営業係員	渡辺 六十六郎				
営業係員	森田 六十七郎				
営業係員	松本 六十八郎				
営業係員	石川 六十九郎				
営業係員	清水 七十郎				
営業係員	山本 七十一郎				
営業係員	田村 七十二郎				
営業係員	山崎 七十三郎				
営業係員	佐々木 七十四郎				
営業係員	高橋 七十五郎				
営業係員	渡辺 七十六郎				
営業係員	森田 七十七郎				
営業係員	松本 七十八郎				
営業係員	石川 七十九郎				
営業係員	清水 八十郎				
営業係員	山本 八十一郎				
営業係員	田村 八十二郎				
営業係員	山崎 八十三郎				
営業係員	佐々木 八十四郎				
営業係員	高橋 八十五郎				
営業係員	渡辺 八十六郎				
営業係員	森田 八十七郎				
営業係員	松本 八十八郎				
営業係員	石川 八十九郎				
営業係員	清水 九十郎				
営業係員	山本 九十一郎				
営業係員	田村 九十二郎				
営業係員	山崎 九十三郎				
営業係員	佐々木 九十四郎				
営業係員	高橋 九十五郎				
営業係員	渡辺 九十六郎				
営業係員	森田 九十七郎				
営業係員	松本 九十八郎				
営業係員	石川 九十九郎				
営業係員	清水 一百郎				

各職種は独立して掲載。他のジャンルとあわせて営業している場合は重複して掲載しています。

ご購入は映像新聞ウェブサイトからお申し込み頂けます

<http://www.eizoshimbun.com>

アマゾン(www.amazon.co.jp)、富士山マガジンサービス(www.fujisan.co.jp)からもご購入いただけます

○A4判 ○594ページ ○価格/¥5,800+税(送料別)

ご注文 ご住所、貴社名、所属部署、ご担当者氏名、連絡先をご記入の上、FAXでお送りください。請求書は商品と一緒に郵送いたします。

映像プロダクション年鑑2016申込書

FAX:03-3942-2581

お申し込み日 年 月 日

会社名

所属・役職

氏名

電話

ファクス

郵便番号

住所

数量

部

金額

円

●お問い合わせ●

株式会社映像新聞社 東京都文京区小日向1-24-8 エイゾービル TEL:03-3942-2161 FAX:03-3942-2581 メールアドレス:info@eizoshimbun.com URL:www.eizoshimbun.com

NABSHOW™
Where Content Comes to Life™

出展概要

12

アイティアクセス

アイティアクセスが国内代理店を担当する海外ベンダーの出展概要は以下のとおり。
▽Interra Systems【ブースNo. SU7105】

「Baton」はファイルベースのワークフローに最適な自動QCソリューション。MAM/DAM/トランスコーダーとのシームレスな連携を実現し、データ分析、エラー箇所レビュー、エラー補正機能などを搭載している。

「ORION」は高QoSと高QoEを保証するためのリアルタイムモニタリングソフトウェア。総合的なHEVC/4Kビデオ品質モニタリングを実現している。

「Vega」は規格適合性チェックとデバッグに最適なメディアアナライザー。ストリーム解析と互換性テスト用プラットフォームとして、H.264、HEVC、MPEG-2 TS、VP9、Dolby Audio、MPEG-DASH、Apple HLSなど、幅広いフォーマットに対応している。

◇Keepixo【ブースNo. SU9302CM】
OTT/VoD向けマルチフォーマッ

ト対応Live/Fileエンコーダーを出展する。

「Genova Live」は、1RUで4Kまでエンコード可能なライブエンコーダー。

「Genova File」は、新機能のHDRを追加した4K60p 10bit対応ソフトウェアエンコーダー。

「Genova Manager」は、何百ものサービスの配備、設定、監視マネジメント & モニタリングなどの機能を網羅している。

▽NexGuard (旧Civolution) 【ブースNo. SU3424】

資産価値の高いコンテンツを保護するための映像電子透かしソリューションを提供する。STB/OTT向けプレミアムコンテンツの漏えい対策にも対応している。

「NexGuard Pre-release」はB2B向け製品で、事業者間のコンテンツ配布時の漏えい抑止や、各種トランスコーダーのプラグインとして映像電子透かし挿入機能を搭載している。

▽Kantar Media【ブースNo. SU9806CM】

音声透かしによるTV番組連動セカンドスクリーンアプリの採用事例をデモする。

107倍4K対応放送用ズーム

富士フィルム

【ブースNo. C7125】

富士フィルムは、同社のフジノンレンズの新製品として、4K対応の放送用ズームレンズとして世界最高107倍ズームを実現した「FUJINON UA107×8.4」と、超広角4.5mmの撮影が可能な4Kカメラ対応ワイドズームレンズ「FUJINON UA13×4.5」を発表。また、昨年発売した「FUJINON UA80x9」に1.2倍エクステンダーを搭載することで望遠側の焦点距離864mmを実現した高倍率ズーム



FUJINON UA107×8.4

レンズ「FUJINON UA80×9 1.2x EXT」を発表した。これらの新製品を自社ブースで出品する。

4K対応の放送用ズームレンズ「UA107×8.4」は、クラス最高となる広角8.4mmから超望遠900mmまでをカバー。スポーツ中継からコンサートやライブ中継まで、多様なシーンを4K撮影できる。撮影距離に応じて複数のレンズ群を制御する「フローティングフォーカス方式」により、ズーム全域で高解像度の映像を

実現している。また、自社開発の「光学式防振機構」により、足場の揺れによる画面上の像ブレを補正し、安定した映像撮影



FUJINON UA13×4.5

ができる。

4Kカメラ対応ワイドズームレンズ「UA13×4.5」は、4Kを超える解像力と高コントラスト、高ダイナミックレンジで、焦点距離4.5mmの超広角撮影と最短撮影距離 0.3mを実現している。

超高精度大口径非球面レンズ採用により、超広角の画角で生じやすい画像のゆがみや周辺解像力の低下を抑制。また、撮影距離の違いによる性能変化を極限まで抑え、近距離から無限遠までの安定した高解像度撮影が可能。独自開発の多層コーティング処理により、透過率や色再現性をさらに向上させている。

1本のレンズで、超広角4.5mmから望遠59mmまでの焦点距離をカバーする軽量・コンパクトなポートابلタイプ。コンサート・ライブ中継、屋内外での番組制作、報道などの多彩なシチュエーションでの4K撮影に適している。

「WOSオブジェクトストレージ」は、急成長するアクティブアーカイブ、コンテンツ配信、コラボレーションに向けた、高い信頼性と大規模な拡張性、高コスト効率を備えたストレージリポジトリ。

「DataMigrator」「ArchiveDirector」ソフトウェアは、データ管理のための包括的なソリューション。SSDからハードドライブ、アクティブアーカイブ、クラウドまでカバーする。

テクノマセマティカル

【ブースNo. SU9826】

現場からの折り返し映像のための放送局向け各種製品をデモする。

H.265/HEVC 4K・8K対応リアルタイムソフトデコーダーは、H.265/HEVC 4K（4096×2160）と8K（7680×4320）60フレームに対応。

小型低遅延IPエンコーダー/デコーダーは、有線LAN、無線LAN、3G/4G、G-GANなどに対応。フルH

ソネットテクノロジーズ

【ブースNo. SL10824】

ソネットテクノロジーズは、同社初のThunderbolt 3製品として、ポケットサイズで毎秒2000MB/s以上の業界最高速性能とストレージ容量512MBのFusion T

映像配信ソリューション提案

エレメンタルテクノロジーズ

【ブースNo. SU2724】

エレメンタルテクノロジーズは、マルチスクリーンTV配信から新サービスおよび収入源を生み出すソフトウェア定義によるさまざまな映像配信ソリューションを出展する。

マイクロコム

マイクロコムが取り扱う各社の出展概要は以下のとおり。

▽Root6社【ブースNo. SL11616】

Root6社の「Content Agent」は、フォーマット変換（MXF、Prores、XAVC4K、DPX）、フレームレート変換、アップ/ダウンコンバーター（SD⇄HD⇄4K）のワークフローを構築できるソフトウェア。多くの機能を追加した最新バージョンをデモする。

▽Venera社【ブースNo. SU8711】

高速処理が可能なファイルベースQCソフトウェア「Pulsar」は、ファイルチェックに加え、オプションとしてHardingPSE（パカパカチェック）、ラウドネ

平和精機工業

【ブースNo. C6819】

「LIBEC ALLEX」と組み合わせたスライダースystemを中心に、「SWIFT JIB50」とFreefly社「MoVI」の組み合わせやペダスタルシステムなどを展示する。

展示の中心となるスライダースystemでは、ミドルクラス三脚「RS」もフラットベース化し「DualHead」になったことで、スライダーとの組み合わせが可能になった。これにより、より幅

GrayMeta

【ブースNo. SL5329】

GrayMeta（元アーキメディア・テクノロジー）は、マルチフォーマット対応ファイルベースのメディアクオリティチェック（QC）総合プラットフォーム「Iris2.0」を出展。また、「Iris2.0」をコアにした各種製品をデモする。放送機関やプロダクションが扱うビックデータの検索・品質管理を行うBDaaSベースのエンジンや、ダイナミック画像で表示す

D、伝送レート3Mbpsで100msの低遅延を実現。ライブ中継の折り返し映像などに適している。

1/4固定長圧縮伸張技術は、放送用映像データを記録保存用磁気テープに保存するための技術。これらの技術には、DMNA（デジタル・メディア・ニュー・アルゴリズム）と呼ばれるアルゴリズムが用いられている。DMNAは、同社の創設者で東京大学客員教授の田中正文工学博士が中心となって開発した。

hunderbolt 3 PCIe Flash Driveを展示する。超高速シャトルドライブとして使用でき、現場での4K編集に適している。

このほか、デスクトップタイプ、ラックタイプのThunderbolt 2-to-PCIeカード拡張システム各種、SAN ストレージも展示、紹介をする。

HDR、VRライブストリーミング、8K/HFRクラウド映像処理、さらに、SDI over IP対応のライブエンコードシステムにリニア放送チャンネルや広告挿入の作業効率化を図る新機能をデモンストレーションする。

ブースでは19日、20日の17時30分より日本語セッションを実施する。

ス自動修正などができる。NABショーで発表する最新版では、6倍速の処理速度を実現。一部機能は日本語表示にも対応。また、「ArchimediaIRIS」をサポートしている。

▽Cinnafilm社【Wynn Suites】

映像クリーンアップ用ソフト「DarkEnergy」の最新機能を紹介。フィルムグレインやビデオノイズを除去する「テクスチャマネージャー」、フォーマット/フレームレート/解像度の変換処理をする「タキオン」、フィルム工程をモデル化し、グレイン修正、サイズ・色・密度などを設定する「フィルム シム」の3モジュールで構成されている。今回新たに、DeadPixelの修復が可能となった。

広いカメラシステムが載せられ、利用可能なシーンが広がった。併せて、今年はブースに対面式のカウンターが大きく設けられ、常駐スタッフとコミュニケーションを取りながらユーザーの撮影スタイルや機材構成に合わせたスライダーの活用方法などを聞くことができるという。

また、SWIFT JIB50とMoVIの組み合わせでは、MoVIリモコンを設置した三脚を操作することにより、ジブの先端に取り付けたカメラを三脚と同じ感覚で操作できる。

るBT2020対応3Dカラースペース「Spectrascope」を初公開する。

「Iris」は4K DCI/UHDまでの解像度やDCP/IMFといったメディアパッケージを再生できるリファレンスプレイヤー。さらに、メタ情報を分析して品質測定する機能も搭載している。

映像、音声のベクトルスコープと波形モニターといった測定ツール、64×64のオーディオルーター、プログラム再生機能を持ち、プロジェクトメンバー間でのコミュニケーションおよび品質測定も可能。

すべてにおいて一級品である。これだけの作品には、なかなかお目に掛れるものではない。それはエルマンノ・オルミ監督の新作『緑はよみがえる』(2014年)だ。彼の名を世界的に一躍有名にしたのが『木靴の樹』(1978年/3月26日から岩波ホールで上映中)であり、彼の前半期の傑作。そして、後半期の傑作は本作であろう。(中川洋吉・映画評論家)

「緑はよみがえる」

私事であるが、オルミ監督を知るうえで1つのエピソードをお伝えしよう。1978年のカンヌ国際映画祭は、筆者にとつて2度目であった。その折に『木靴の樹』がコンペ部門で上映され、見事にパルムドールを獲得した。映画祭開始3日目での上映の際に、早くも本作の最高賞を確信したが、これほど早い上映での受賞は、現在に至るまでほかに知らない。

当時のオルミ監督は38歳。国際的な知名度に乏しかったはずである。時々の審査委員長は、アラ・J・パクラ監督(『大統領の陰謀』76年)であった。

◆記念碑的作品
2014年11月4日に



「緑はよみがえる」(塹壕のシーン)

エルマンノ・オルミ監督傑作の1本 戦争の悲劇や非人間性を再定義

00年たった今、その歴史は既に色あせ、記憶は曖昧(あいまい)とする。しかし、戦争の事実を人々に思い起こさせ、悲劇や非人間性を再定義する必要がある。

要がある。

それは、「皆に代わり犠牲になった者たちの命のためである」と、オルミ監督は作品の意図を述べている。極めて明確な意思表示だ。

◆第一次世界大戦末期
本作はイタリア北東前線の雪深いアジアゴ高原が舞台。時代は1917年で、当地、地図上ではミラノとベネチアの間

に位置する。イタリア軍とオーストリア軍が山岳地帯で尾根を挟み、互いの息遣いが聞こえるくらい

死と向き合う兵士たちを描く

らしいの近距離で対峙する。両軍とも、雪の山中の塹壕(さんごう)に立てこもり、戦局は手詰まり状態である。

物語はこの暗く凍てつく寒さの塹壕を舞台とする。一晩の記録である。内部はイタリア軍兵士が常時戦争態勢で敵と向き合う男性だけの場で、物語に女性はい人も登場しない。

◆息をのむほどの自然の美しさ
自然風景の圧倒的な美しさ



雪原の兵士とロバ

監督の長男で撮影監督を務めるファビオの映像感覚が、見事の一言に尽きる。絶望の世界。理不尽の極致。交代の将校が新たな命令を携えて登場する。通信不能状況で、中央の司令部は新たなケーブルの敷設を求める。塹壕の状況を全く無視し、上層部の軍人たちはベッドで毛布にくるまり寝るが、現場は寒さと敵弾におびえるなか、命令を伝える将校も、実行する兵士も、この理不尽さを百も承知のうえで受け入れる。

冒頭は、雪原の兵士たちの行軍、塹壕前での厚く積もる雪かき作業。1人の兵士が歌うナポリ民謡が静寂を破り、響き渡る。彼の歌への称賛の音が両陣営から湧くが、誰も唱和しない。

悲慘な塹壕の中の日常。いつ見舞われるか分からないは何もなく、白い色調が一層映える。塹壕内は、カラーでありながら、ぬめり感のあるモノクロ調で、この画調は、ちょうど岩波ホールで上映された『パシヤの黒い瞳』を思い起こさせる。例えるなら、艶(つや)を含むモノクロといえよう。

入口の塹壕の暗さと、自然の白を基調とする対比の鮮やかさ。オルミ監督の戦争の悲惨さを伝える1枚の地獄絵図にも例えられる窮状。この地獄絵図の中での兵士たちのアップ。既に会話は失せ、ことの成り行きに任せざるを得ない絶望が支配する世界。その惨状を黙々と追うカメラ。

◆敵の大攻撃
兵士たちがクリス・ツリーと呼ぶ、雪の原に残るたった1本のカラ松が、敵の砲弾により燃え上がる。まるで最後の生の消滅のように。

この時点でようやく退却の指令が出され、雪の尾根伝いに兵士の列が続く。残酷な戦争だが、白い雪の中の退却行、美しい一幅の絵画を見ている

EXA INTERNATIONAL | www.exa-int.co.jp

映像のこれまで そして、これからを最新の技術と24時間365日のサービスでサポートしていく。
“どんなニーズにも応えられる”私たちは、そんな存在であり続けたい。
皆様大切な映像に確かな Quality を…



24hours 365days OPEN

Media Process / Multimedia / Virtual / Telecine / Edit / MA / Creative

〒107-0052 東京都港区赤坂2丁目16番9号
TEL : 03-5575-3911 FAX : 03-5575-3910 www.exa-int.co.jp



若い中尉

新任の将校は母あてに手紙をしたためる。恐らく、まだ若い彼の遺書かもしれない。

◆死地と向き合う兵士
彼の手紙は「こよなく愛する母上へ」で始まり、着任したばかりでありながら、「戦場で一挙に老人になった気がする」と

心情を吐露。「理想を失い、自分のような若者が死に、生存者は死を持ち帰る。難しいことは赫(ゆる)すこと」と戦争そのものの本質を鋭く突

加害者と被害者は存在する。しか

《文中敬称略》

オートデスクが27日にイベント 3ds Maxの最新情報や 活用事例などを紹介

オートデスクは、エンターテインメントおよびデザイン業界を対象とした「3ds Max」ユーザー向けのイベント、「The day of 3ds Max」を27日に開催する。イベントでは3ds Maxの最新情報を提供し、さらに各業界のユーザーセッションを予定している。セミナー会場のほか、ライブストリーミングでも受講できる。

【日時】4月27日/13時30分～18時45分

【会場】恵比寿ガーデンプレイス内ザ・ガーデンルーム（東京都目黒区三田1-13-2）

【定員】200人（ライブストリーミング300人）

【参加費】無料（事前登録）

【詳細】area.autodesk.jp/event/maxday2017/

第28回「すかがわ国際短編映画祭」
5月14・15日開催

今年で28回目を迎える「すかがわ国際短編映画祭」は、5月14～15日の2日間、福島県須賀川市の須賀川市文化センターで開催される。上映作品は国内16本、海外13本。また、チェン出身で現在はアゼルバイジャンに暮らす、ザラ・イマエフ監督作品『わたしの名はエラサ』を招待上映し、同監督をゲストに招く予定（前売り券発売中）。

【映画祭公式サイト】s.sfl.littlestar.jp

【イベント】放送ライブラリー「2016 春の人気番組展」放送番組センター主催による恒例の番組展。NHK、民放各局の新番組や人気番組のポスター、

台本、関連グッズ、セット模型・デザイン画などの展示のほか、番組PR映像も上映する。番組情報誌・ノベルティグッズのプレゼント（数量限定）もある。「BSコーナー」では、今春のBS各局の一手し番組を一堂に集めて紹介する。

【日時】開催中～5月22日まで/10～17時（月曜休館）

【会場】放送ライブラリーイベントホール・映像ホール（横浜市中区）

【入場費】無料

【詳細】www.bcci.or.jp/event/blog/2016/02/post20160401.html

テレビのマーケティング データ活用の実態を解説

次世代メディア研究所

次世代メディア研究所は、26日に特別セミナー「変わるTVマーケティング」を開催する。ロクによる詳細な視聴履歴、ネット上での情報消費実態、さらに購買行動などのデータを掛け合わせ、より効果的なマーケティングが可能になってきている。データがビジネスに大きな影響を及ぼす時代、放送事業者やスポンサーにとってどんな「武器」が登場しているのかを議論する。

講師は、CCCマーケティング事業企画部企画（東京都千代田区神田練原ビル・セミナールーム）

【会場】インテジ秋葉原ビル・セミナールーム

【日時】4月26日/15時開始

【開始】2016年2月設立、資本金975万円。業務内容は、デジタル映像資産の管理・運用、プロデュース、映像配信・映像クラウドサービスなど。

新会社

◇Seven Dew株式会
2016年2月設立、資本金975万円。業務内容は、デジタル映像資産の管理・運用、プロデュース、映像配信・映像クラウドサービスなど。

移転

◇プリズム（4月1日付）
【新住所】北海道札幌市北区北六条西1-3-8
381-7000-3838
／ファクス011-700-3839

なお、旧本社（札幌市中央区）は同社機材センターとして運用する。

人事

◇キヤノンマーケティングジャパン（3月29日付）
▽取締役 濱田史朗▽取締役（非常勤）土橋昭夫（双日顧問）▽常務監査役 手戸邦彦、楠美信泰（いずれも新任）

一般のゲームユーザーを調査

CESAが報告書を発刊

全体の継続利用者は4336万人 ハード別「スマホ」1位

同調査は、日本全国に在住する3～79歳の一般生活者を対象に実施（有効回収数は2869サンプル）。この結果を基に、全人口へ拡大推計した数値を算出した。主な調査結果は次のとおり。

【家庭用ゲーム機の利用状況】

「家庭用ゲーム機所有者」は5224万人、本文240万/6480円を発売し、全国の政府刊行物取り扱い書店などで販売を開始した。

「家庭用ゲーム機所有者」は5224万人、本文240万/6480円を発売し、全国の政府刊行物取り扱い書店などで販売を開始した。

「家庭用ゲーム機所有者」は5224万人、本文240万/6480円を発売し、全国の政府刊行物取り扱い書店などで販売を開始した。

After NAB Show OSAKA/TOKYO 2016

今年も開催決定! NABの出展製品が一堂に集結! 大阪 5月17日(火)、東京19日(木)、20日(金)

ご出展申し込み受付中

■NABの公認イベントとして開催

After NAB Showは、毎年4月に米ラスベガスで開催される、世界最大の放送・映像機器のイベントNABに出展した企業による最新機器の展示、セミナーです。

米国で発表、紹介した展示内容を日本のお客様向けにご紹介する貴重な機会として、今年で3回目となります。昨年は約40社が出展し、約3,000人の来場者が最新の機器やサービスを見に来場しました。現在、すでに多数のご出展申し込みをいただいております。

【After NAB Show OSAKA/TOKYO 2016 開催概要】

<3rd After NAB Show OSAKA>

■開催日時：2016年5月17日（火）、10:00-18:00

■会場：大阪市北区「グランフロント大阪」

<4th After NAB Show TOKYO>

■開催日時：2016年5月19日（木）、20日（金）、10:00-18:00

■会場：東京都千代田区「秋葉原UDX」

（展示フロア：2階「AKIBA_SQUARE」、シアタープレゼン：4階「UDX THEATER」、4階「UDXギャラリー」、ほか）

■主催：株式会社映像新聞社、一般社団法人 日本エレクトロニクスショー協会

【出展のお申し込み、お問い合わせ先】

一般社団法人 日本エレクトロニクスショー協会 電話：03-6212-5231（担当：小田、石崎）

SONY

「見る」から「体感する」へ。

4K映像に新たな感動を。ソニーが求めたのは、まるでその場にいるような空気感を伝えること。
そのために4K高解像度に加え、階調表現を飛躍的に高めたHDR（ハイダイナミックレンジ）での映像制作を可能に。
まばゆい光の輝きから暗部のディテールまで豊かに再現し、より人の視覚に近い映像を描きだします。
また、HD最大8倍速のハイレームレート撮影の実現により、表現力を向上。
「見る」から「体感する」へ。ソニーの高画質化技術が臨場感とリアリティーに満ちた映像体験をもたらします。



映像表現の可能性を広げるソニーの4K/HD映像制作システム

CineAlta Premium 4Kカメラ **F65RS**
CineAlta 4Kカメラ **PMW-F55**
マルチフォーマットポータブルカメラ **HDC-4300**
XDCAMメモリーカムコーダー **PXW-FS7**
XDCAMメモリーカムコーダー **PXW-FS5**

マルチフォーマットスイッチャープロセッサ **XVS-8000 NEW**
マルチポートAVストレージユニット **PWS-4500 NEW**
4Kメモリープレーヤー **PMW-PZ1**
30型4K有機ELマスターモニター **BVM-X300**
データプロジェクター **SRX-T615**

4K

ソニーのプロフェッショナル/業務用
映像制作機材の情報は

sony.jp/pro-cc/

広告掲載商品に関するお問い合わせは 業務用商品相談窓口【フリーダイヤル】
携帯電話・PHS：一部のIP電話からは050-3754-9550/受付時間：9～18時（土・日・祝日・弊社休業日は除く）

0120-788-333

◎ソニーおよびSONYは、ソニー株式会社の登録商標です。CineAltaは、ソニー株式会社の商標です。◎その他記載されている商品名は、各社の商標または登録商標です。本文中では™、®マークは明記していません。◎商品を安全に使うため使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。◎掲載商品の仕様や外観は改良のため予告なく変更することがあります。

Sony Business Solutions Corporation
ソニービジネスソリューション株式会社